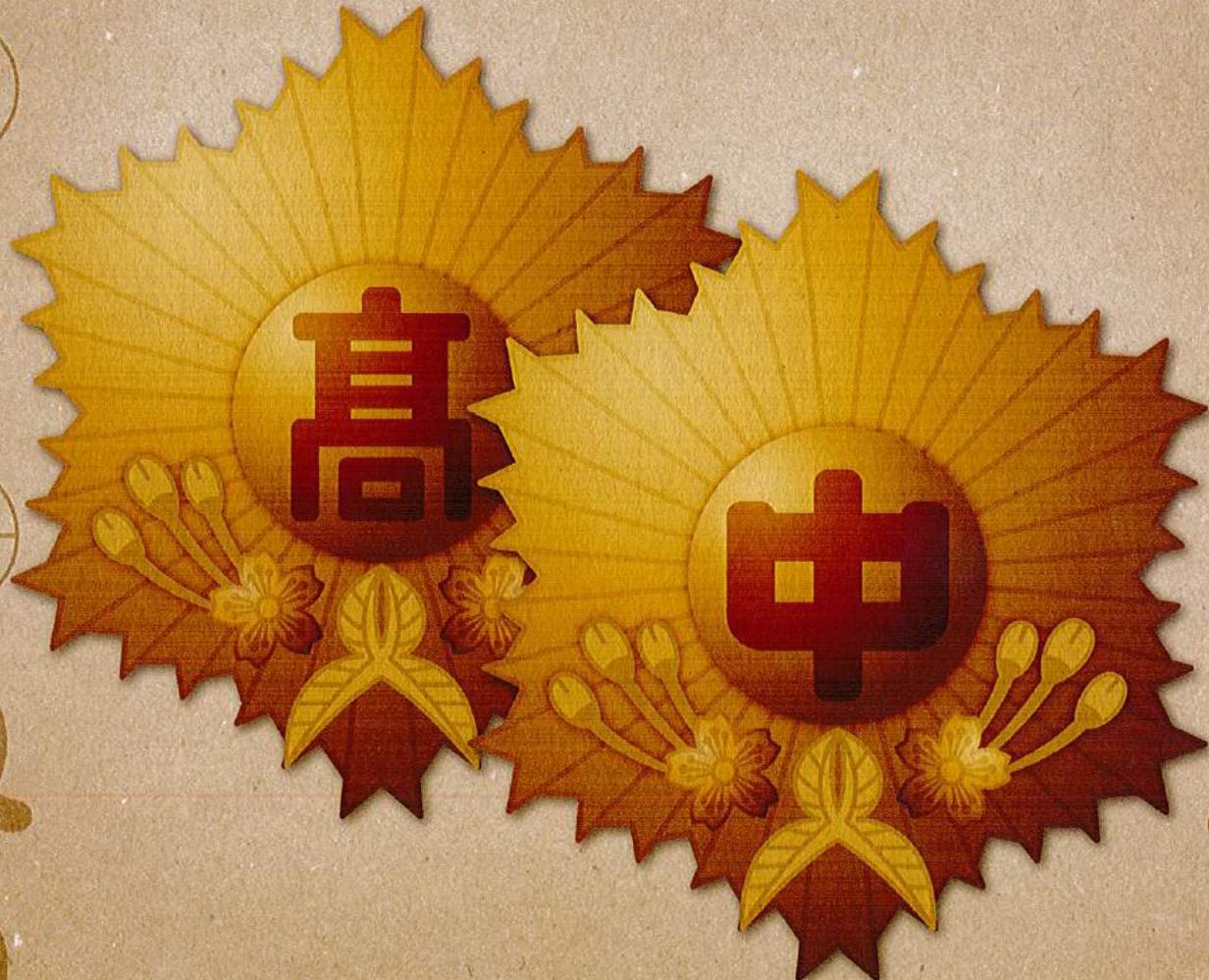


明治大学付属中野 中学・高等学校

SCHOOL GUIDE 2016

NAKANO JUNIOR AND SENIOR HIGH SCHOOL
ATTACHED TO MEIJI UNIVERSITY

質実剛毅 協同自治



進むべき方向を見出す。



学校長 大渡正士

明治大学付属中野中学・高等学校の校長を務めるにあたり、まず私が行ったのは本校年史を読み返したことです。そこには、校訓・校歌にある「質実剛毅・協同自治」の文字が記されています。私の役割は、この教育方針を継承することです。

私は英語教師として、大学卒業とともに本校に着任しました。教員が志望でしたから、一番の楽しみは授業で、今もそれは変わっていません。学校生活の基盤となるのはその大半を占める授業で、授業によって礼儀は培われていくと思っています。人の話を聞き、聞いた話を自分で咀嚼し、内容を理解することが教育で最も大切なことで、すべてに通じる基本です。ですから、授業態度や礼儀については特に重きを置いています。

服装や頭髪についても然りです。自分たちが通う学校の制服に誇りを持って欲しいと思っています。制服は個性がないように思われるがちですが、同じ服装だからこそ内面の個性が光ります。優しい子、気の強い子、思いやりのある子、そういう内面的な個性を大切に伸ばしてあげるのも教師の役割です。自分で責任を持って生きていく時になったら、個性の出し方はいろいろあると思いますが、中学・高校はまだ成長段階です。

最後に、本校の一番の特長は明治大学の付属ということです。学校生活の全般を入試のみに傾けるのではなく、クラブ活動などを通じて本音で付き合える一生の友を得ることができます。自分の興味が赴くまま、面白いと思ったことに取り組む時間と心の余裕もあります。自ら考え行動し、より多くを知ることで、大学への進学にあたり、どの学部で何を学ぶのか、明確な目標を持って先に進むことができるようになります。本校に在学する6か年・3か年の中でもじっくりと将来を見据え、ぜひ自分の行くべき方向を見つけてください。



一般教室

コンピュータ教室

音楽室

調理実習室

2014年8月 中学棟完成
2014年8月に1期工事である中学新校舎が完成しました。
2017年12月の4期工事(予定)を目指して、明大中野はあた
らしく生まれ変わります。



知・徳・体を育て、個性を伸ばす 明大中野の一貫教育。

明大中野では、「質実剛毅・協同自治」の校訓のもと、生徒一人ひとりの知・徳・体を育むべく、教育活動を行っています。勉強面を偏重することなく、部活動をはじめ学校生活全般において、生徒の個性に応じて特性を伸ばし、文武両道を実現するまた大学での学問の完成を目指し、教育活動を3ヵ年、6ヵ年という長期スパンと、2年ごとの短期スパン双方を導入し、カリ中学からの入学はもちろん、高校からの入学でも安心して学習に向かえるよう、内容豊富な講習や研修により学習意欲をサポートする確かな学力と自らの意志で学ぶ姿勢を育んでいきます。

生徒一人ひとりの志望を尊重した3つのサポート体制。

自分自身の個性に気づき、広く未来に向けて視野の拓ける高校1年次を契機として本校のキャリアサポートがスタートします。明治大学推薦希望者の国公立大学併願受験が可能となる本校では、明治大学への進学のみならず、3つのサポート体制で柔軟な進路指導を行っています。

- 付属校として明治大学に進学するためのサポートや、その特色を生かした教育の実践
- 個人にあわせた他大学進学への支援、併願受験のサポート
- 職業観を養い、何のために進学するのか、その目的を明確にするためのサポート

これによって生徒自身が、本当に学びたい分野を見つけ、自ら学ぶ姿勢を身につけるようになり、やがてはっきりとした将来のビジョン、就業意識を養うことにつながっていくものと考えています。



基本的な生活習慣と自主自学の精神を身につけ、「質実剛毅・協同自治」の実現を目指します。9割以上の生徒が部活動に参加します。

中学教育のスタート

- 「理解力」「表現力」「思考力」「創造力」の向上を目指す
- 情操教育における精神面での成長
- 自主自学の精神の育成

ことを目指しています。
キュラムを構成。
ートし、



明治大学付属校として 将来に向けた連携体制。

明大中野は、明治大学の付属校として、進路・進学における様々な連携体制を整えています。特に重視しているのは、高校生のうちに、それぞれの将来に適した学部・学科を見つけるようにすること。各種講座や見学会が設けられており、大学の先生方から様々な形で指導を受けています。

目指す学部を探すための「明治大学特別進学講座」

高校1年生を対象に、毎年行われる特別講座です。目的は、「明治大学を知ること」。各学部の学部長が講師となって、明治大学各学部の目標と特色を説明します。

明治大学には10学部28学科があります。自分の夢や志望は、どの学部・学科へ行けば実現できるのか。この講座では、学部長の先生から直接、大学の様子を聞くことができます。進路決定に役立ち、明確な将来像が描けると好評です。

情報コミュニケーション
学部 24人

農学部 16人

文学部 21人

経営学部 37人

理工学部 37人

法学部 38人

国際日本学部 10人

総合数理学部 9人

政治経済学部 55人

商学部 50人

平成26年度
明治大学
内部推薦者数
297人



駿河台キャンパス（リバティタワー）

法学入門講座

[高1～高3対象]

明治大学法学部主催の法学検定ベーシック（基礎）コース合格を目指した講座で、将来の進路選択に役立っています。

簿記講座

[高1～高3対象]

簿記資格取得のため、明治大学経理研究所が企画するものです。高校在学中から簿記の資格取得を目指し、この講座をきっかけにして大学で公認会計士などの資格にチャレンジする卒業生も多くいます。

語学講座

[高1～高3対象]

ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語の基礎を学びます。明治大学文学部の先生を講師に招き、語学のセンスを磨きます。

明治大学生田キャンパス見学会

[高2対象]

理系を志望する生徒を中心に、農学部・理工学部の講義を聴講したり、実験・実習を見学したりします。また、研究室や各種施設の見学も行います。

明治大学公開授業

[高3対象]

明治大学において、各自興味のある学部の講義を聴講します。各自の最終進路決定に大きく役立っています。

Short course & Training 講習 & 研修

学力や技術を養う多種多様な講習で、専門知識を習得。

中学1年から高校3年まで、学年それぞれの用途に応じて、様々な講習を用意しています。早朝・放課後の平常講習、夏期講習、英検講習、リスニング講習や実験講習、デッサン講習、指名講習などレベル別に講習を行っています。

主な平常講習／中学

国語	長文読解演習（1～3年）
数学	問題演習（標準）（1年）、問題演習（基礎～応用）（2・3年）
英語	問題演習（英検4級・3級・2級合格目標）、発音・リスニング演習
理科	問題演習及び実験、講習
美術	石膏像を中心とした木炭デッサン（1～3年）

主な夏期講習／中学

国語	長文読解演習（1～3年）
数学	問題演習（基礎～標準～応用）（1～3年）
英語	問題演習（1・2年）、発音練習（2年）、文法問題演習（3年）
社会	明治大学博物館見学（1年）
理科	実験講習

主な平常講習／高校

国語	問題演習（現代文・古典）（1年）、センター試験問題演習（3年）
数学	問題演習（基礎～応用）（1・2年）、問題演習（理系対象）（3年）
英語	ネイティブ講師によるリスニング&英会話実践
社会	世界史講義（中国史の通史）（2年）
理科	問題演習（物理・化学）（2年）、センター試験問題演習（3年）
美術	石膏像を中心とした木炭デッサン（1～3年）
体育	剣道1級・段位取得のための技術練習（2年）

主な夏期講習／高校

国語	古典読解演習（基礎～応用）（1年）、小論文対策（3年）
数学	問題演習（基礎・応用）（1年）、問題演習（大学入試程度）（3年）
英語	センター形式問題演習（リスニング・長文読解）（2・3年）
社会	センター試験対策演習（3年）
理科	センター試験対策演習（3年）
その他	ドイツ語講座（1年）、簿記講座（1年）



英語力を持续するため

詹景翔

講習では集中できる環境が整っていて、先生方が綿密に解説してくれるため、たちまち高い英語力が身につきました。また、講習を受け続けることで、その英語力を持續でき、さらに英語を勉強する姿勢や習慣を身につけられました。



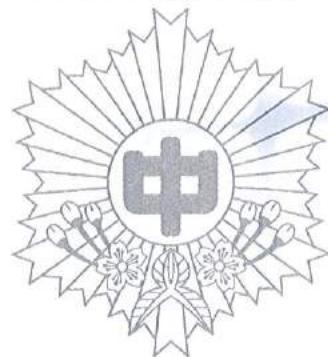
講習の魅力

石川卯一朗

講習は、比較的少人数で同じ目的を持つた人達と学ぶため、集中して問題に取り組むことができます。わからない点はすぐに先生に質問ができるので、その場で疑問点を解決することができます。そのため、着実に力が付いていくと実感しながら学習を進めています。

中学校

Junior high school



6カ年一貫教育を前提に、
基礎学力の充実に注力する

POINT

文武両道を実践できる
授業重視と豊富な講習

POINT

5教科の学力を
バランスよく伸ばす

POINT

体力と精神力を伸ばし、
学びに必要な力を養う



中学校の教育課程では、基礎学力の充実を重視しています。そして、自主的・積極的に学んでいける生徒の育成に、力を注いでいます。中高一貫教育では、6年間もの長い目で学年に応じた教育を行い、着実に実力がつくように配慮されたカリキュラムが最大のメリットです。また、時間を有効に使えるため、勉強と部活動のメリハリある教育活動も可能です。

文武両道を実践できる授業重視と豊富な講習

中学校で勉強の成果を収めるためには、1・2年次の段階で、学校での生活にきちんと慣れることが必要です。授業内容が進み、部活動も始まりますが、学校生活に必要な体力がつくと、生活の時間にも余裕が生まれます。すると、生徒は自ら、家庭学習を習慣づけようとして始めるのです。

そこで学習面では、授業重視の教育で基礎学力を養いながら、生徒の個の違いに応じて、教員が的確にフォローしていくことが重要となってきます。授業では、教材に付随する課題や練習問題を必ず全員が終えるようにしています。授業時間内で終わらない場合には、宿題という形で対応します。その結果は、教員が丁寧にチェックし、理解できていない点については、本人にフィードバックするとともに、個別の指名講習などのフォローを行います。

こうした体制が整っているため、明大中野では文武両道の充実を実践できるのです。

5教科の学力をバランスよく伸ばす

本校では国際的な舞台で活躍することのできる人材の育成を目指しており、英語の授業数を増やすことに加えて、1・2年次で英会話の時間をカリキュラムに織り込むなど、英語教育に力を入れています。しかし、特定の教科に偏重したカリキュラムは実施していないため、5教科の学力がバランスよく伸びることも特色です。そのため高校進学後、国公立大学を志望する生徒も多く、センター試験にも十分に対応可能な学力を身につけられます。

授業では、高校の先取り学習などは行わず、むしろ、基礎をしっかりと固めることを目指します。こまめに小テストを実施し、再テストや指名講習等のフォローに細心の注意を払っています。

高校入学を迎えるにあたって、3年次では特に学習のレベルアップを大きな目標としています。成績が一定水準に達しない生徒に対しては補習を行うほか、学習意欲を高めるために、各種検定の受検も奨励しています。

体力と精神力を伸ばし、学びに必要な力を養う

また、授業に集中できる生徒に育てるために、精神面と体力面の教育も重視しています。入学時には、ホームルームなどを通じて、校則をはじめ、ルールを守ることから、徹底的に指導します。「人の話をきちんと聞く」など、生活の基本に目を向かせることで、授業をしっかり聞ける生徒に育つのです。それが学習に活きてくることは、言うまでもありません。

さらに、体育の授業において柔道・剣道に力を入れているのは、体力の増強に加え、本物の礼儀作法に触れ、理解を深めるためです。礼節への理解は、職業観や倫理観の養成につながるだけでなく、リーダーに求められる資質を養うことにもなります。



在校生の声

Student's Voice

菅原啓示



「明大中野の学校生活」



明大中野の学校生活は毎日とても充実しています。中学生になったばかりで、学校生活に慣れていない私たちに先生方は優しく接してくれました。初めての定期試験の時は、学習の仕方をみんなに説明してくれました。また、各教科でショートテストを行ってくれたり、対策プリントを配布してくれたりしたので、安心して試験に臨むことができました。分からないところがあると休み時間や放課後も時間を使って教えてくれます。その繰り返しによって、学力や家庭学習の習慣も身についたように感じます。

また、夏は岳明寮での移動教室やクラス対抗で行われる体育祭など友人達と協力し、団結していくことができる行事もたくさんあって、色々な人と仲良くなれました。

部活動はラグビー部に所属しています。週5日、八幡山グラウンドで練習しています。現在、中学ラグビー部は雪が谷中学校と合同チームを組んでいるので、土曜日、日曜日は合同練習をしています。目標に向かって、基礎体力を付けたり、技術を磨いたりと毎日努力しています。練習は厳しいですが、楽しいです。クラブ内の規律はきちんとありますが、先輩・後輩はとても仲が良く、いろいろなことを教えてもらっています。明大中野の生活は始まったばかりですが、これから6年間、文武両道を目指して頑張っていきたいと思います。

中学校教育課程

教 科	区分	科 目	1 年 次	2 年 次	3 年 次
国 語	標準		140	140	105
	本校	国語①	105	105	105
		国語②	70	70	70
社 会	標準		105	105	140
	本校	社会①	35	70	70
		社会②	70	35	70
数 学	標準		140	105	140
	本校	数学	140	70	105
		数学①		70	70
理 科	標準		105	140	140
	本校	理科	105	70	70
		理科①		70	70
音 楽	標準		45	35	35
	本校	音楽	70	55	35
美 術	標準		45	35	35
	本校	美術	70	50	35
保 健 体 育	標準		105	105	105
	本校	保健・体育	70	70	70
		水泳・武道	35	35	35
技術・家庭	標準		70	70	35
	本校	技術・家庭	70	70	35
外 国 語	標準		140	140	140
	本校	英語①	105	105	175
		英語②	70	70	35
道 德	標準		35	35	35
	本校	道徳	35	35	35
特 別 活 動	標準		35	35	35
	本校		35	35	35
総 合 的 な 学 習 の 時 間	標準		50	70	70
	本校		70	70	70
合 計	標準		1015(29)	1015(29)	1015(29)
	本校		1190(34)	1190(34)	1190(34)

○数字は、年間授業数。(35時間=1単位)

高等学校

Senior high school



基礎学力に加え、進学志望に応じた専門知識を習得

POINT

詰め込み学習をしない、知識を広げ理解を深める授業

POINT

種類豊富な講習により、必要な学力を伸ばす

POINT

「演習」の実施により、授業中心主義を貫ける

高等学校の教育課程では、それぞれの進路志望に合わせ、5教科を中心じっくりと実力を養うことを目標としています。特別進学クラスは設けず、あくまでも日々の授業を中心に学習を進めています。そして、多彩な講習によって、生徒各人の必要に応じた学力の充実を図ります。そのため、部活動と勉強の文武両道を実践することが可能です。

明治大学への推薦入学については、3年間の総合成績によって決定されます。つまり、5教科に加え、芸術や体育など全教科でバランスの取れた成績が重視されるのです。最終的には、「知・徳・体」の調和がとれた成長へつながっています。

詰め込み学習をしない、知識を広げ理解を深める授業

学習においては、シンプルでオーソドックスなカリキュラムに徹し、先取り学習などは行わずに生徒各人の習熟度に応じたフォローを行っています。

英語や数学においては、詰め込みにならないよう反復練習を重視しています。特に英語は、将来を見据え、高レベルな英語力を身につけられるよう、体制を整えています。

また、暗記科目になりがちな社会や理科においては、幅広い知識の養成を目指しています。

とりわけ、文系と理系のコース選択前の1年次の段階では、5教科の学習の成果がバランスよく得られるよう指導しています。

種類豊富な講習により、必要な学力を伸ばす

平常講習、夏期講習など、多彩な講習も、基礎力をきちんと身につけ、実力を持つことにつながっています。特に、朝7時15分から8時5分までの50分間で実施している「朝の講習」は、放課後、部活動で午後の講習に参加できない生徒の学習と部活動の両立に大きな成果をあげており、明治大学の推薦入学率の高さにも現れています。

3年次には、国公立大学志望者を対象として、5教科すべてで、センター試験に対応するための講習を行っています。

「演習」の実施により、授業中心主義を貫ける

併設中学在学時に先取り学習を行っていないため、内部進学した生徒と、高校から入学した生徒とは、同じスタート地点から、学習を始めています。

1年次は、中学3年間に引き続き、基礎的な学力を充実させる時期ととらえています。続く2年次からの学習に備え、まずは各教科の土台をしっかりと築きます。

2年次は、文理選択を行い、生徒それぞれの将来に近い形で学び始めるようになります。英語・数学・国語においては、「演習」も加わり、志望に応じた専門知識を習得するとともに、応用力の充実を図ります。

3年次には、より志望する進路を見据えた学習体制をとります。英語・数学・国語の「演習」の時間には、センター試験レベルの内容の問題集を教材として授業を行っているため、明治大学以外の大学入試にも備えることができます。



在校生の声

Student's Voice

内野和宙



「充実した学園生活とは」

高校1年生としての1年間は新たな発見ばかりでした。部活動では上下関係や礼儀などを学び、勉強面では10科目以上に分かれた各分野の幅広い学習で新たな視野を広げることができました。このように私はこの1年で多くのことに良い意味で感化され成長することができたと思います。そこで、これらの経験を通して私が心得た、充実した学園生活を送るために重要なポイントをお話します。

一つ目は部活動に入ることです。先にも述べた通り、授業では学べない上下関係や礼儀に触れることで、人間としてステップアップできると思います。私は現在スキー部に所属しています。この競技は非常に自然に左右され、時には身を危険に晒してしまうこともあります。それを防ぐためにも、先輩と後輩の信頼関係を築くことが大切であるということを学べました。

二つ目は生活面を整えることです。生活面の乱れは心の乱れを引き起こし、服装の乱れや睡眠不足による学習意欲の低下へと繋がる恐れがあります。当校の校訓である「質実剛毅」に基づいて、立派な高校生になれるように生活面に重きを置きましょう。

これから入学される皆様が、充実した学園生活を送られることを願っています。

高等学校教育課程

教科	科 目	標準単位	1年次 履修単位	2年次履修単位		3年次履修単位	
				文系	理系	文系	理系
国語	国語総合	④	4	2	2	2	2
	現代文B	4		2	2		
	古典I			2	2		3
	古典II			2	3		
地理歴史	国語演習			2			
	世界史A	②	2	2	2		2
	地理A	②		2		4	
	世界史B	4		2		4	
公民	日本史A	2		2		4	2
	日本史B	4		2		4	
	地理B	4		2		4	
	現代社会	②	2	2			2
数学	倫理	2		2			
	政治・経済	2				4	
	数学I	③	4				
	数学A	2	2				
理科	数学II	4		4	4		
	数学B	2		2	2		
	数学III	5				6	
	数学演習			2	1	3	
芸術	物理基礎	②	2				
	化学基礎	②	2				
	生物基礎	②		2	2		
	生物			3		2	
保健	生物基礎II	4				4	
	保健	②	1	1	1		
	体育	⑦~⑧	3	3	3	3	3
	音楽I	②	[2]	[2]	[2]		
外國語	美術I	②	[2]	[2]	[2]		
	コミュニケーション英語I* 1	③	4				
	英語表現I	2	2				
	コミュニケーション英語II* 2	4		4	4		
家庭	英語表現II	4		2	2	2	2
	コミュニケーション英語III* 3	4				4	4
	英語演習			2		2	
	家庭基礎	②	2				
情報	社会と情報	②				2	2
	総合的学習	③~⑥	1	1	1	1	
ホームルーム			1	1	1	1	
	認定単位		34	34	34	34	

(*必修科目) ■の科目。○印は文部科学省による必修科目の標準単位。
(選択科目) [] 内は教科内選択必修科目。 *1~3 「コミュニケーション」とは「コミュニケーション」の略

英語 English

英語を通じて世界を見る

国際的な視野と幅広い知識を習得し、世界で活躍できる生徒の育成を目指す

本校では、リーディング・ライティング・リスニング・スピーキングの4技能をバランスよく伸ばし、自分から発信できる力を伸ばしていきたいと考えています。そのためには、生徒、教員ともに最後まで諦めないことを大切にしており、粘り強く指導しています。

中学の段階では、基礎的かつ幅広い英語力が身につくよう、一人ひとりの英語力の向上に努めています。そのために、定期的なショートテストとその追試、さらに指名講習を行い、目標に到達するまで粘り強く指導しています。また、中学1～3年では全員がG T E Cを受検し、学習の成果を試す機会を設けています。

高校では、教科書で学んだことをもとに、大学進学に要求されるレベルの英語力を養成することを目指しています。そのために、高校1年から定期的にショートテストを行い、語彙力・文法力を高める努力をしています。高校2・3年では英語演習の授業を設け、高校2年ではセンター試験レベル、高校3年では難関大学レベルの長文読解を中心に授業を行い、応用力を養っています。また、高校3年間を通じてG T E Cを受検し、自分の実力を確かめる機会を設けています。同時に英検・TOEIC等の受検も奨励し、将来に役立つ英語力の養成に努めています。



国語 Japanese

明確な意見を、わかりやすく相手に伝える力を養う

国語学習の目的は「読解力」と「表現力」の養成です。これらの力は情報を正しく理解し、自分の意思で行動するためにも、自分の意思を伝えたい相手にわかりやすく伝えるためにも必要な能力です。「読解」については、教科書を中心に、「表現」については、スピーチやディベートなどの授業を通じて「読む力・聞く力・書く力・話す力」をバランスよく伸ばします。語彙力の養成にも重点を置き、定期的に確認テストなどを実施しています。



数学 Mathematics

柔軟で論理的な思考力を身につける

数学は、論理的に考える力を養い、順序立てて明確に物事を伝える力を付けられる科目です。授業に加え、基礎から応用まで含まれた問題プリント等の課題を通じ、家庭学習の指針としています。高校2年で文理に分かれた後、理系では応用力を養うことに重点を置き、高校3年の演習の時間ではセンター試験や入試レベルの問題演習を行っています。指名講習や長期休暇中の特別課題、自主参加可能な講習によるフォローアップも行われています。



社会 (地理歴史・公民) Social Studies

基礎的な事柄の理解を深め、主体的に考える習慣をつける

社会は、問題解決能力の養成につながる教科です。そのため必要な基礎的知識を、用語・地名・人名の単なる羅列に終わらず、しっかり理解するよう、じっくり学びます。授業では地図の読図や資料(史料)を読み取る能力の育成も図ります。また、積極的に時事問題を扱い、現代社会について主体的に考える習慣をつけます。特に大学で社会科学系学部への進学を希望する生徒には、ニュース時事能力検定の受検を勧めています。



理科 Science

問題解決能力を養い、科学的な思考を育てる

理科を学ぶ意味は、様々な現象を科学的にとらえ、自然科学への理解を深める点にあります。また、実験・観察を通じて問題解決能力を養成することは、将来、科学的思考に基づいた判断や行動につながります。本校では特に中学で実験を多く取り入れ、その基礎力を養っています。また、高校では教科書だけにとらわれず、より発展的な事柄を取り扱い、幅広く学習します。家庭学習は復習に重点を置き、必要に応じて課題も出しています。



音楽 Music

豊かな感性を養い、幅広い視野を培う

音楽を通じて、より豊かな感性を養うとともに、世界中の人々の文化・伝統や心の動きを学び、感じ取ります。中学では主に音楽の基礎を学習し、高校ではさらに音に感應できるよう、キーボードを使った授業を行って、クラシックからポピュラーミュージックまでさまざまなジャンルの音楽の演奏や鑑賞を通して、音楽への興味を引き出しています。また、中学2年では、数多くのDVD鑑賞なども行っています。



美術 Art

課題に対して、創造的に対処できる人物を育成する

美術は、豊かな心を持ち、想像力があり、意欲的に活動できる人材の育成を目指す科目です。美術教育を通じて、未来のあらゆる課題や問題に対して、創造的に対処し、主体的に行動できる人物に成長することを目指しています。その結果、授業において制作された作品は、中・高ともに、完成度の高い秀作が多くあります。また、美術系や建築系進学希望者に対して、基礎から進展できるよう、美術デッサン講習の個別指導を行っています。



保健体育 Health and Physical Education

体力を養い、集団生活の基礎と礼法を身につける

本校の特色であるきめ細かい生活指導を、授業において特に実感できるのが保健体育です。陸上や球技はもとより、武道にも力を入れています。高校1年で柔道か剣道を選択し、2年間継続して学び、高校2年の年度末には技量に長じた者を対象に昇段審査も行っています。その他、中学1・2年では水泳の授業もあります。そして保健学習を通して、健康と体力の保持増進の方法などを学びます。



情報 Information Science

「情報」について考察し、適切な表現法を身につける

「情報とは何か」について考えるとともに、情報を適切に表現すること、現代社会の問題点や未来に向けてすべきことを学びます。授業では、「わたしたちと情報社会」「情報とネットワークの活用」「情報機器の発達とそのしくみ」などについて、座学を行う時間が約半分、そして実習が約半分となっています。実習ではオフィスソフトを始めとして、プレゼンテーションソフトも使って作品を作ります。



技術 Technical Arts

創意工夫のための発想力と技術的な視点を身につける

技術の授業を通じて、身近な技術を体験的に学ぶことは、工夫して想像することの大切さを感じ、技術的な「ものの見方」を身につけることに役立ちます。中学1年から3年までの3年間で、「材料と加工に関する技術」「エネルギー変換に関する技術」「生物育成に関する技術」「情報に関する技術」について、それぞれ実習を通して学習するカリキュラムによって、ものづくりへの興味を促し、創意工夫を凝らすための発想力を養います。



家庭 Home Economics

衣食住の生活全般を学び、人間の英知を実感する

人が長い時を経て培ってきた、英知のすばらしさを実感してもらうことを目標に、授業では、衣・食・住にわたる生活全般を中心学びます。さらに、乳幼児の保育、家庭生活の意義や家庭経済などについてまで、幅広く学習しています。衣食住については、特に、食生活分野において、調理科学に重点を置いています。個々の食品がもつ栄養学的な特性や、調理学的な特性の理解を助け、実生活に応用できるような、授業を行っています。



自主性を重んじる文武両道だから養える 学ぶための創意工夫と、競技への集中力。

皆さんは何部で活動していますか？

高橋 僕は野球部に入っています。明大中野は部活動の種類も多く、やりたい競技を選べるのが魅力です。野球部ではセカンドを守っています。バッティング練習でうまく打てない時は悔しく、徹底的に素振りを繰り返します。野球部は先輩後輩の上下関係もしっかりしています。

太田 僕も野球部で彼の1年先輩でキャプテンをしていました。礼儀を大切に、チーム一丸となるよう、こまめにミーティングを重ね、悔いの残らないように頑張りました。

山田 僕は3年生になりましたがバレー部でした。僕たちの練習場は屋外で、夏暑く冬寒く、メンタル的にも鍛えられました。また顧問の先生が部員の自主性を大事にしてくださったので、僕ら主導で部の活動が行えました。

池谷 なかなか他校にはないスケート部に所属しています。毎週木曜日に高田馬場のリンクへ練習に行きます。日頃は体力をつけるトレーニングを続けています。コーチがいらした日は練習もハードですが、その分充実しています。

太田 良い結果が出ると、もうひとつ上へ、もっと上位へ、と思うようになりますね。

山田 男子校なので本音でぶつかって友情が深まるのも魅力です。

吳 私は文化部の棋道部に所属しています。将棋と囲碁をさす部活動です。

高橋 将棋・囲碁、両方を学べるのですか？

吳 基本的にはそうです。しかし、両方をさせる人は少なく、どちらか得意な方に集中して腕を磨きます。日頃は和気あいあいと仲の良い部員たちも、対局となると真剣で厳かな雰囲気が室内を支配します。このメリハリが棋道のいいところですね。

太田 やはり高校生になると活動もレベルが上がる感じがします。より厳しくなるような感じもします。

吳 運動部のことは詳しくわかりませんが、やはり真剣なぶつかり合いという点では、より厳しくなると言えるかもしれませんね。

山田 ひとつことをより突き詰めて行く感覚ですよね。

部活動と勉強の両立について。

皆さんはどんな勉強の進め方をしていますか？

吳 高2になると、日々の家庭学習の重要性を感じるようになります。先生方も毎日の予習復習が大事だとよくお話を教えてくださいますよね。

高橋 はい。中学でも日々の積み重ねが大切だといつも言われています。僕は中2で部の中心になってからは、足りない時間は通学時や休み時間、昼休みなどの細切れの時間を大事に使うようにして補っています。

吳 大切なことですよね。僕はいよいよ大学受験に向けて勉強を始めるわけですが、理数系の科目は授業に集中することでマスターしようと思っています。また文系の科目は先生の板書をいちばんのよりどころにして、どんな得意科目でも手を抜かない、やった気にならない、「謙虚に謙虚に」と考えています。中学生の皆さんはどうですか？

太田 僕も授業中になるべく集中して理解するようになっています。あとは試験の10日前から部活動が休みになるので。

高橋 そうですね。10日前から集中して頑張ります。

山田 僕は、試験前のいつから始めるのが一番自分に合っているかを考え、25日前から始めるのがちょうどいいことに気づき、自分でスタート日を決めています。

一同 お——。

池谷 先生が板書される中で色を変えて目立つように書く箇所に気づき、「ここ大事そうだな」と思うところは授業中に覚えてしまいます。

吳 皆さん自分なりの取り組み方があるんですね。中学で先生方が「高校行ってから頑張ろうと思ってもダメだぞ」とおっしゃるでしょう？あの言葉の意味は、高校の授業は中学で学んだことの応用が多いということなんですね。

明大中野の好きなところを教えてください。

高橋 楽しいのは体育祭です。3学年縦割りのクラス対抗戦で、見所はクラス対抗リレー。クラス内で話し合って選ばれたメンバーが競い合いますが、アンカーはなんと学級担任の先生なので、応援がものすごく盛り上がります。

池谷 行事では自由が多く、行動は自主性に任されます。僕は部活のメンバーで文化祭の催しを巡るのが好きです。

高橋 そうだね。みんなで見て回るのは楽しい。

吳 僕たち棋道部にとって、文化祭が1年の中でも重要な行事なので気合いが入ります。お客様と楽しく対局するのが趣旨なのですが、毎回本気で勝負を行い、景品を渡さないことに全力を注ぎます。真剣に向かって来てくださいお客様に手を抜いたら失礼ですからね（笑）。

山田 僕は体育祭も文化祭も大好きです。中2の夏の移動教室や中3春の校外学習、修学旅行など思い出もいっぱいあります。思い返せば休み時間、友だちと仲良くわむれる時間が何よりもかけがえのない時間に思えます。

一同 なるほど！ 言えてる！

太田 僕は他校にはない室内温水プールが自慢で、また新校舎がどんなふうになるのかが今から楽しみですね。

吳 学ぶ環境が整っているなあと思います。自然環境で言えば、桜並木。こんなキレイな通学路は他にないでしょう。

池谷 先生方がすごく真剣に生徒に向き合ってくれるところも。

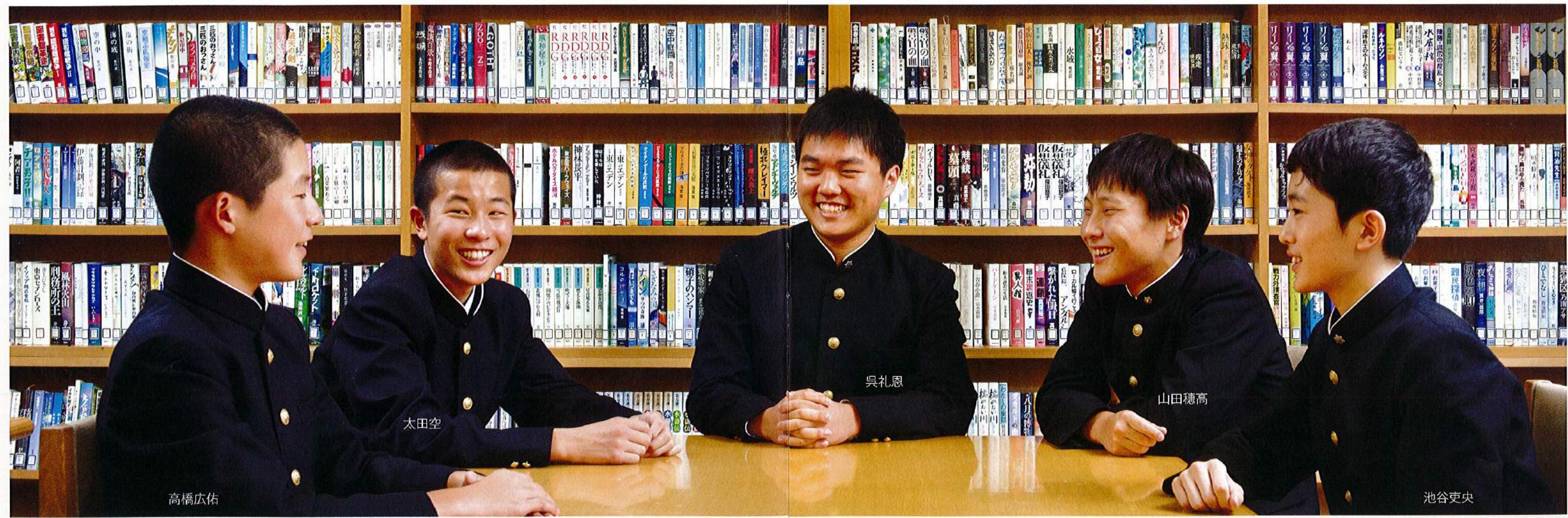
吳 高校に進学すると同じ先生でも急に厳しくなります。中学は義務教育だけど高校は違うから、と。でもその真剣な言葉のありがたさに気づくようになります。

高橋 校則は厳しい方だと思います。しばられるのは苦手ですが、一方ではルールを守る生活の大切さにも気づいています。いずれ僕らが成長したときに、しっかりマナーやルールを守れる大人になれると思うんです。

太田 自主性を重んじる反面、それと同じくらい責任の重さがある、ということを教えられますね。

池谷 そうですね。先生が厳しく接してくださる分、みんなきちんととしていて、むしろいい関係が築けています。

山田 やはり校内でも部活動でも縦社会がしっかりしているって大切なことです。先生にも先輩にも敬語を使って話す。これは社会に出てからも活きる力ですからね。



Club activities クラブ活動 [運動部編]

技術の向上を目指す、精一杯の努力が実を結ぶ

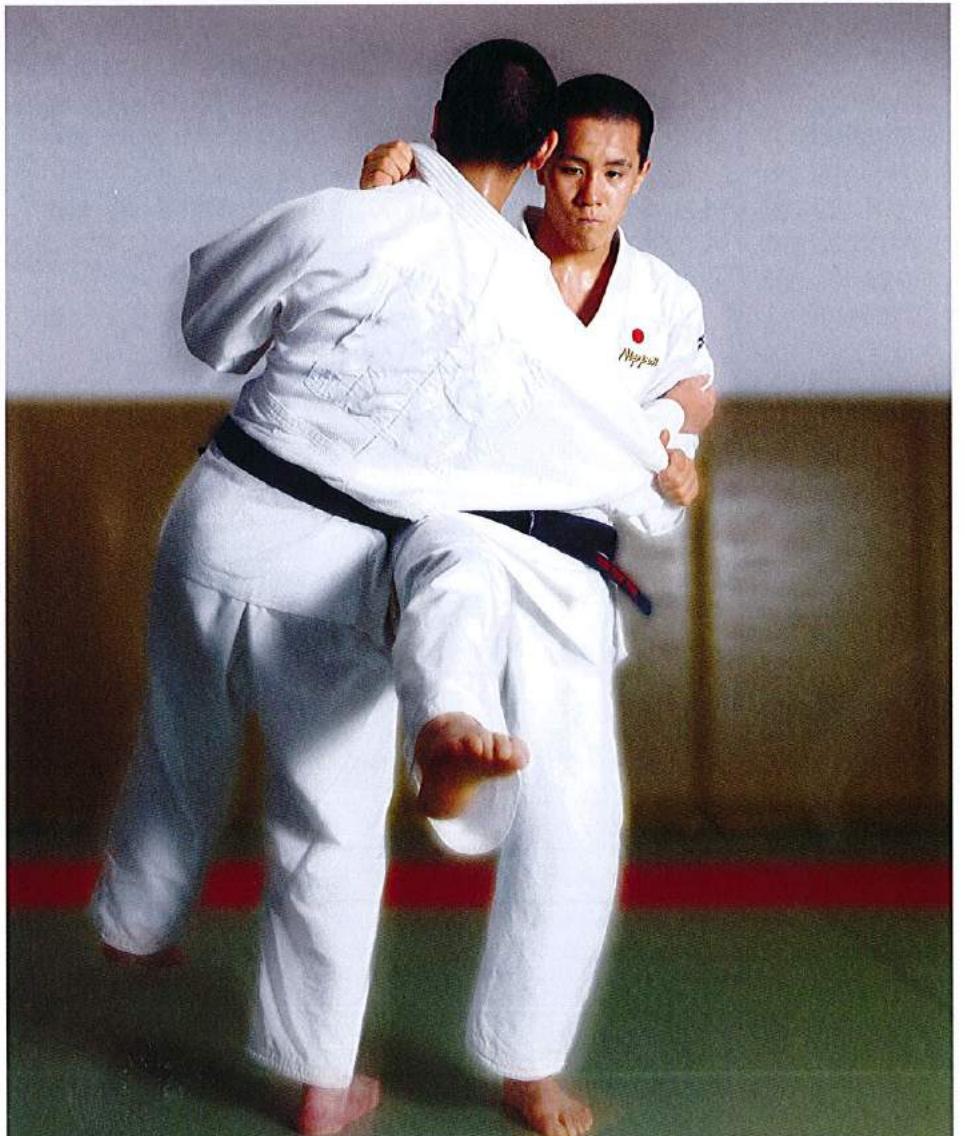
厳しい練習で強靭な身体と精神を育み、文武両道を目指す運動部。

競技を愛し、技術向上を目指して研鑽を積んだ結果、

各方面において好成績を残しています。

そして、共通の目標を目指して生まれる友情や連帯感は、一生の宝となります。

庭球部 陸上部 バドミントン部 水泳部 応援部 射撃部 野球部 スケート部
山岳部 体操部 バスケットボール部 サッカー部 剣道部 柔道部 バレーボール部
相撲部 スキー部 ラグビー部 卓球部 ゴルフ部 アーチェリー部



柔道部

Judo

礼儀を重んじ、強靭な身体と精神力を高める日々の稽古により、社会に貢献できる人間育成を目指します。近年では全日本ジュニア（U20）選手権大会、全日本カデ（U16）選手権大会、同国際大会などでも優秀な成績を収めています。



野球部

Baseball

中学野球部（軟式）は都大会優勝通算13回を誇る伝統ある部として、全国大会を目標に、高校野球部（硬式）は甲子園出場を目標に、精神力の鍛錬と技術向上に励んでいます。



相撲部

Sumo wrestling

元横綱若乃花関・同貴乃花関や元大関栃東関など、角界力士を輩出しており、中学生・高校生とも、都大会・関東大会・全国大会で毎年、優秀な成績を収めています。



剣道部

Kendo

中学・高校一緒に、本校剣道場で活動しています。経験者、初心者各々が、昇段等、各自で定めた目標に向かって熱心に稽古に励み、文武両道を目指しています。



水泳部

Water polo

水球の全国大会優勝を目指して、日々、努力を重ねています。中学生・高校生合わせて約50名の部員が、一つのプールで一緒に練習を行っています。



バスケットボール部

Basketball

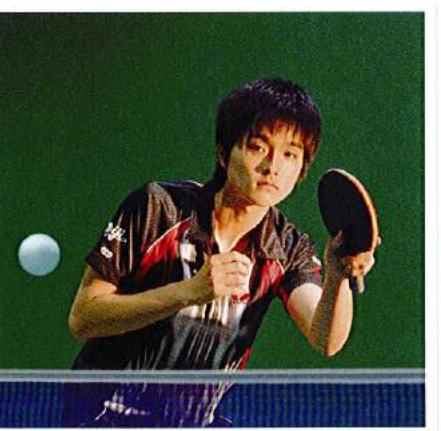
東京都大会の上位入賞を目指し、バスケットボールが好きという気持ちを大切に、基本練習からゲーム形式の練習まで、段階に応じてトレーニングしています。



バレーボール部

Volleyball

文武両道を第一におき、限られた時間で集中した練習に打ち込んでいます。部員がお互いに、日々切磋琢磨することで、技術面・精神面の鍛錬を行っています。



卓球部

Table tennis

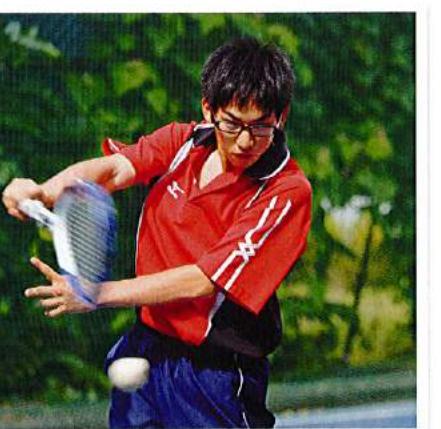
中学生・高校生の部員がと一緒に活動し、技術の向上に努めています。また、毎年夏に実施する、新潟県湯沢町での合宿を通じ、技術・体力・協調性を高めます。



サッカー部

Soccer

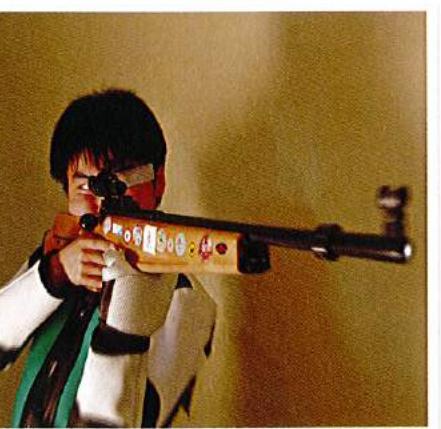
技術向上のため、他のクラブに負けないチームワークと明るさで、互いに切磋琢磨しています。なお、練習は、中学生と高校生は別々に行っています。



庭球部

Tennis

中学生・高校生対象の軟式テニスと、高校生のみ対象の硬式テニスがあります。校内で行う基礎練習のほか、区営コートでの応用練習や試合を行っています。



射撃部

Rifle Shooting

ピームライフル競技を中心に、エアライフル競技やピームピストル競技も行っています。校内に射撃場がある環境のもと、関東大会・全国大会などで優秀な成績を収めています。



Club activities クラブ活動 [文化部編]

まじめに取り組み、協力し合い、発揮される個性

興味のある分野をとことん追究し、将来につながる知識を深める文化部。

各分野に精通している教員が指導にあたり、

文化祭での発表や、部員揃っての活動を通じて、

観察力、創造性、表現力を養うとともに、協調性やコミュニケーション力を高めます。

新聞部 地理部 地学部 棋道部 写真映画部 英語部 生物部 文芸部 理化部 美術部

演劇部 史学部 放送部 音楽部 数学部 コンピュータ部 応援団サークル

(平成25年度より発足)



音楽部

Music

弦楽・吹奏楽・オーケストラと、様々な形態での演奏を行っています。プロの演奏家をコーチに招き、各楽器毎に、しっかりと技術を身につけます。



史学部

History

興味のある分野の研究発表や、博物館見学を行う一般活動のほか、夏合宿では文化祭の展示テーマに関わる地を訪れ、展示資料を集めています。



地学部

Earth science

平日の一般活動は、ケーピング練習や筋トレ、天文や化石の知識習得を行い、春は多摩川で化石採集、夏合宿は主に岩手の滝観洞、白蓮洞でケーピングと調査、冬は高尾で天体観測を行っています。



棋道部

Shogi and Go

初心者には、将棋・囲碁のルールから始まって、実戦に必要なさまざまな手筋に至るまで、親切に指導しながら、お互いの実力の研鑽に励みます。



美術部

Art

油絵の制作を中心に、スケッチ、合宿、文化祭・体育祭の装飾・展示、コンクールへの出品、中野サンモール「空中ギャラリー作品」参加等、活動は多彩です。



地理部

Geography

毎年、異なる土地で現地調査合宿を行い、調査結果は模型や資料を制作して文化祭で発表します。中学生は鉄道路線をひとつつんで調査を行い、本を制作します。



理化部

Physics and Chemistry

文化祭までの期間は、文化祭で展示する化学実験や電気工作等の研究・調査を行います。秋～冬季は生徒理科研究発表会に向けて、化学実験等の研究を行います。



生物部

Living thing

通常は魚の飼育を行っているほか、夏休み前からは、本格的に合宿と文化祭の準備に入ります。例年、文化祭では、PTAからの各賞を受賞しています。



平成26年度 生徒会クラブ 年間表彰一覧

※東京都大会ベスト8以上、またはそれに準じる記録です。

中学

運動部

●水泳部

【水球】全国大会 団体／出場

【水球】東京都大会 団体／優勝

●柔道部

東京都大会 個人／2位

東京都大会 個人／5位

●バドミントン部

東京都大会 団体／ベスト8

高校

文化部

●写真部

東京都私立中学高校写真展 個人／奨励賞

●棋道部

東京都将棋選手権大会 個人／5位

●美術部	全日本学生美術展 個人／佳作
●陸上部	【競歩】東京都大会 個人／6位
	【競歩】東京都大会 個人／2位・3位
	【競歩】関東大会 個人／6位・8位
●卓球部	国民体育大会 団体／5位
	東京都大会 团体／7位
	東京都大会 個人／優勝
●スケート部	【フィギュアスケート】世界ジュニアグランプリ選手権大会 個人／出場
	【アイスホッケー】
	東京都大会 团体／2位
●ラグビー部	東京都大会(第一地区) 团体／3位
●スキー部	全国大会 個人／出場
	●相撲部
	全国大会 個人／ベスト16
	関東大会 個人／3位
	東京都大会 個人／優勝
●柔道部	全日本ジュニア大会 個人／5位
	関東大会 团体／3位
	東京都大会 团体／3位
	東京都大会 個人／3位・5位

●ゴルフ部	全国大会 団体／出場
	全国大会 個人／出場
	東京都大会 個人／2位
●射撃部	東京都大会 個人／優勝
●剣道部	全国大会 個人／出場
	関東大会 個人／出場
	東京都大会 個人／3位
●山岳部	東京都私立高校大会 团体／3位
	【登山】全国大会 团体／出場
	【登山】東京都大会 团体／優勝
●水泳部	【水球】国民体育大会 团体／出場
	【水球】全国大会 团体／出場
	【競泳】国民体育大会 团体／3位
	【競泳】全国大会 個人／3位
●柔道部	全日本ジュニア大会 個人／5位
	関東大会 团体／3位
	東京都大会 团体／3位
	東京都大会 個人／3位・5位

School Life

学校行事

明大中野では、総合的な学習にも力を入れており、その一環として、数多くの学校行事を設けています。生徒の情操面での成長を促す絶好の機会として、教員も指導に力を入れています。

中学入学直後に実施する1泊2日の学年旅行（オリエンテーション合宿）に始まり、中1・2、高1の移動教室（林間学校）、中3・高2の修学旅行と、校外学習の時間を多く設けています。

また、中高合わせて2000名近い全生徒が参加する文化祭は、生徒主体で取り組む自発的・積極的な意欲が、明大中野の生徒としての自覚や誇りを生みます。将来においては、自信や自分自身の搖るぎない軸として、それぞれの人生を支えることとなるでしょう。

明大中野の一年

校外学習、桜山祭（文化祭・体育祭）のほか、明治大学と連携した、進路・進学関連行事が充実しています。

6月 明治大学公開授業（高3）

10月 修学旅行【奈良・京都／4泊5日】（中3）
【沖縄／4泊5日】（高2）
教科見学会（中1・2、高1）
明治大学推薦テスト（高3）

1月 明治大学推薦入学試験（高3）

4月 入学式
中学・高校生徒会長選挙（中1～高3）
学年旅行【山梨・静岡】（中1）
校外学習【東京近郊】（中2・3）
明治大学推薦テスト（高3）

7月 進路セミナー（高2）
移動教室【長野／2泊3日】（中1）
【長野／3泊4日】（中2、高1）
海外語学研修【アメリカ】（高2・3／希望者）

11月 明治大学特別進学講座【駿河台キャンパス】（高1）
進路セミナー（高1）
明治大学生田キャンパス見学会（高2）

2月 明治大学推薦テスト（高2）

5月 進学講演会（高3）
新体力テスト（中1～高2）
六大学野球応援（高1）

9月 桜山祭 文化の部（中1～高3／中高合同）※
桜山祭 体育の部（中1～高3／中高別）

12月 進路セミナー（高1）
スキー・スノーボード講習【北志賀】（中1～高3／希望者）

3月 卒業式
海外語学研修【ニュージーランド】（中3／希望者）

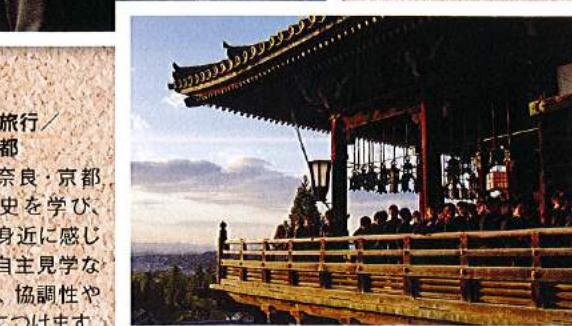
※桜山祭 文化の部は校舎建て替え中につき、27年度は実施いたしません。



● 学年旅行 入学して間もない4月末に行う、1泊2泊のオリエンテーション合宿です。クラスメイトとの親睦を深め、クラスの結束を固めます。



● 六大学野球応援
明治大学が出場する、東京六大学野球の応援観戦です。明治大学の先輩方の活躍を見守り、付属校生徒としての誇りを高めます。



● 中学修学旅行／奈良・京都
4泊5日で奈良・京都を訪れ、歴史を学び、日本文化を身近に感じます。班別自主見学などを通じて、協調性や計画性も身につけます。



● 移動教室
夏休みに、3泊4日の林間学校として行われます。球技大会や手作り体験を行なながら、クラスメイトと寝食を共にし、友情を深めます。（※中学1年は2泊3日の日程）

生徒会活動

「協同自治」の精神を実現する存在が、生徒会や各委員会、そして学校行事に向けて組織される実行委員会です。

それぞれ、生徒主体で計画・運営されており、毎年生徒からは、さまざまな意見やアイデア、企画が自主的・自発的に提出されています。教員はできる限りそれらを実現できるよう、サポートしています。

こうした生徒会活動は、学校生活をより充実したものとしており、明大中野の生徒である誇りを育み、将来の自信にもつながっています。

生徒会中央委員会

中学・高校ともに、全校生徒の投票によって、会長が選出されます。そのほか、副会長、会計などからなる本部役員、各クラスから2名ずつ選出された中央委員によって運営されています。

生徒会役員にとって、年間最大の目標は、秋に実施される文化祭の成功です。文化祭実行委員会と協力し文化祭の成功をリードするとともに、生徒会主催のバザーを実施し、売上金を福祉団体に寄付しています。そのほか、募金活動も行っています。

文化祭実行委員会 体育祭実行委員会

文化祭実行委員会、体育祭実行委員会はそれぞれ、実行委員長、副実行委員長を始め、総勢50名程度で構成されています。文化祭実行委員会は4月に発足し、5つの部門に分けられ、生徒会や文化部を中心に、さまざまな企画を行います。体育祭実行委員会は、運動部の部長が集まって組織されます。さらに生徒会が加わり、体育祭の企画運営を行います。

美化委員会

各クラスより2～3名の委員が参加し、活動を行っています。主な活動は、年に数回実施する校外美化活動で、学校周辺の地域の清掃を行います。

福祉委員会

福祉委員会は、生徒会と協力しながら、募金活動や清掃ボランティアなどに参加しています。

● 桜山祭／文化の部 文化祭は中学・高校合同で行われます。多くの文化部が一年間の活動の成果を教室で展示・発表するほか、生徒会主催のチャリティバザーや、生徒有志による模擬店、PTAの参加もあります。音楽部や演劇部は講堂で日頃の練習の成果を披露し、近隣の住民の方々も鑑賞にいらっしゃいます。

● 移動教室 夏休みに、3泊4日の林間学校として行われます。球技大会や手作り体験を行なながら、クラスメイトと寝食を共にし、友情を深めます。（※中学1年は2泊3日の日程）

● 中学修学旅行／奈良・京都 4泊5日で奈良・京都を訪れ、歴史を学び、日本文化を身近に感じます。班別自主見学などを通じて、協調性や計画性も身につけます。

● 学年旅行 入学して間もない4月末に行う、1泊2泊のオリエンテーション合宿です。クラスメイトとの親睦を深め、クラスの結束を固めます。

● 六大学野球応援 明治大学が出場する、東京六大学野球の応援観戦です。明治大学の先輩方の活躍を見守り、付属校生徒としての誇りを高めます。

● 海外語学研修／ニュージーランド ホームステイをしながら、現地学校の授業を体験します。現地の文化や伝統に触れ、広い視点から世界を捉えられるようになります。

● スキー・スノーボード講習 毎冬、中学・高校の希望者を対象に、北志賀で実施しています。希望者は、SIAの検定を受けることもできます。

● 桜山祭／体育の部 体育祭は中学・高校が、別日程で行われます。クラス別に色分けし、中学は6チーム、高校は9チームのクラス対抗で点数を競い合います。中学・高校ともに、担任の先生がアンカーを走るリレーは、たいへん盛り上がります。また、綱引き、騎馬戦、棒取りなどの競技も行われ、熱闘が繰り広げられます。

● 高校修学旅行／沖縄 平和講演などで、戦争に対する見識を広げることによって、平和の大切さを学ぶとともに、マリンスポーツやトレッキングを通じて、自然と触れ合います。

Career Guidance 進路指導

「大学で何を学び、自分を活かし、社会でどう働くか」
将来を見据えた、確かなキャリアサポートが充実。

明大中野では、高校3年間の間に、大学で学びたいことや、将来やりたい仕事を見つけることが大切だと考えています。

高校時代のキャリア教育を重視し、明治大学との連携体制を活かしながら、多様な進路指導を行っています。

また、その土台づくりとして、中学校時代には精神面での成長を促しています。



大学で何を学ぶのか

明大中野では、中学・高校の期間に自学自習の習慣を身につけるべく勉強に取り組ませるとともに、その基本とも言うべき精神と身体の育成にも力を入れています。

私たちは、生徒たちが専門分野の学びを完成するのは、大学4年間においてと考えています。しかし、大学進学後に高い意欲を持ち、勉強に打ち込むためには、高校を卒業するまでに自分の個性を見つめ、学びたい分野を見つけることが必要です。つまり、大学入学後に学ぶためには、高校時代のキャリア教育が非常に重要なことです。自らの志望を決め、明確な目標を定めることこそ、高校時代になすべきことなのです。その目標に向かって、必要な基礎学習を行い、専門知識の基本的な部分を身につけること。これこそが、高校時代に修めるべき勉強だと、私たちは考えています。

また、志望や目標が定まっても、自ら学ぶ姿勢が身についていなければ、学びを究めることはできません。自学自習を習慣づけるためには、10代の早い時期に当たり前の習慣として身につけてしまうことが、後になって役立ってきます。そして、得た知識を的確に活用し、社会に貢献するためには、理解力・表現力・思考力・創造力そして道徳心や倫理観など、情操面での成長が必要不可欠です。中学・高校時代の多感な時期に、学習に偏ることなく、情操教育をきちんと行なうことが、将来の成長につながるものと信じています。

本校の明治大学推薦入学者は75%を超えており、大学との連携も非常に密接であるため、卒業生たちの活躍も自然に耳に入ります。そうした中で、大学から、「明大中野の卒業生は、自らの就職活動の準備がよくできている。やりたいことができる会社を、きちんと選べる学生である」との評価をいただいていることは、私たちのキャリア教育に対する成果と言えるでしょう。

明治大学やNPOと連携したキャリアサポート

明治大学の付属校であるため、大学と連携してキャリアサポートを行えることは、本校の大きなメリットのひとつと言えます。

例えば、大学では何を専攻するかによって、学部の選択を行わなければなりません。しかし、専攻によっては、高校生には内容が想像しにくい分野も多々あります。あるいは、どの学部学科へ進めば、その分野が学べるのか、10代の生徒たちには分からることも多いでしょう。そこで、本校では明治大学の各学部長による、「特別進学講座」を行っています。10学部28学科の中から、自らの目標に合致する学科はどこか、生徒たちは大学の先生から直接伺った話によって選ぶことができるのです。目標に合致した学科へ進学することは、学びの最大のモチベーションとなることでしょう。

また、職業が多様化した現在、キャリアサポートなしには、明確な職業観を養うことは非常に困難です。そこで本校では、キャリア教育支援NPO「16歳の仕事塾」との連携により、「進路セミナー」を実施しています。これは、さまざまな職業の社会人をお招きし、生徒が興味のある分野を選んで、聴講するものです。講師は、自身の高校時代の話に始まり、その仕事を選んだ理由、その仕事の実際の業務、その仕事に求められる能力や適性などについて、お話をしてくださいます。セミナー終了後には、生徒を対象にアンケートを実施していますが、その回答からは、生徒たちが集中して聴講し、自分自身の将来像を考える上で、大いなる糧となっていることが分かります。

今後、日本の大学の入試制度も国際化していくでしょう。その場合も、海外での活躍を視野に入れて、将来を考えられる生徒たちに育つことを、私たちは確信しています。

高等学校卒業後の進路状況

平成26年度高校3年生の進路決定状況

在籍者数 400名	明治大学推薦入学 *291名	専門・各種学校 1名	就職 0名
	国公立大学 17名	留学 0名	
私立大学 61名	浪人 30名		

*明治大学内部推薦者の297名中、6名は国公立併願合格により国公立大学及び大学校に進学

明治大学内部推薦者数

学部	26年度	25年度	24年度
文系	法学部	38	40
	商学部	50	50
	政治経済学部	55	55
	経営学部	37	37
	文学部	21	23
	情報コミュニケーション学部	24	24
	国際日本学部	10	10
	理工学部	37	39
	農学部	16	16
	総合数理学部	9	9
内部推薦者数合計	297	303	304
内部推薦率	74%	76%	76%
高校3年在籍者数	400	398	400

Interview

これから的人生の自信につながる、満足のゆく一日一日の積み重ねを。



教頭 今津一也

本校に英語教師として赴任して以来、相撲部と関わり、現在も相撲部の顧問をしています。

大会に出た時、土俵で戦っている生徒に部員たちが「自分の相撲」と声を掛けっていました。「自分の相撲」とはいったい何かと考え、一番の試合で自信をもって相撲をとりきることなのではないかとの結論に至りました。一回一回、満足のいく練習を積み重ね、試合ではこれまでやってきたことを100%出し切ること。これは、学業にも、これから的人生にもつながることだと思います。また、クラブ活動で培った先輩への礼儀や後輩への思いやり、そして仲間意識はいくつになっても消えるものではありません。

本校はクラブ活動が盛んです。文武両道は教育方針の一つでもあります。しかし、運動が上手ければ良いということではありません。本当の文武両道とは、智を鍛え、そして体と心を鍛えることだと思っています。

他大学合格実績

	26年度	25年度	24年度
国公立大学	東京大学 3 (2)		
	一橋大学 1 (1)	2 (2)	
	東京工業大学 1 (1)		
	東京外語大学 2 (2)		
	北海道大学 1 (1)		
	東北大学 1		
	筑波大学 1 (1)	1 (1)	2 (2)
	横浜国立大学 2 (2)	3 (2)	
	千葉大学 4 (3)	1 (1)	1 (1)
	静岡大学 1		
難関私立大学	高知県立大学 1 (1)		
	名古屋大学 1 (1)		1 (1)
	神戸大学 1 (1)		
	長崎大学 1		
	香川大学 1		
	東京農工大学 2 (2)	1	1 (1)
	電気通信大学 3 (3)		1 (1)
	東京海洋大学 1 (1)		
	首都大学東京 1		2 (1)
	大阪府立大学 1 (1)		
上位私立大学	防衛大学校 1 (1)	1 (1)	
	合計 21 (17)	14 (10)	12 (10)
	早稲田大学 16 (13)	13 (11)	11 (9)
	慶應義塾大学 11 (8)	13 (10)	7 (6)
	上智大学 6 (6)	8 (6)	7 (5)
	東京理科大学 12 (7)	6 (3)	6 (1)
	合計 45 (34)	40 (30)	31 (21)
	明治大学 18 (12)	17 (17)	8 (7)
	立教大学 6 (4)	2 (1)	5 (2)
	法政大学 9 (8)	11 (8)	8 (2)
その他私立大学	中央大学 3 (2)	4 (4)	2 (2)
	青山学院大学 8 (3)	7 (6)	1 (1)
	学習院大学 3 (1)	2 (1)	2
	関西大学 2	2 (1)	
	合計 49 (30)	45 (38)	26 (14)
他大学合計	115 (75)	102 (77)	109 (41)

()内は現役合格

指定校推薦制度による進学者数 (平成27年度入試)

文系	青山学院大学 総合文化政策学部	1名
理系	慶應義塾大学 理工学部	3名
文系	東京電機大学 情報環境学部	1名
理系	東京理科大学 理工学部・薬学部・理学部	3名
文系	日本大学 生産工学部	1名
	合計	9名

世界の広さと多彩さを知った 学校生活が現在の礎に

安達由幸

平成4年度卒業
元町法律事務所勤務



明治大学法学部を卒業後、銀行に就職した私は、途中で方向転換を図り、司法試験を受け、弁護士となりました。

振り返ると高校生の時、進路指導の先生に「安達君は弁護士にならよいのでは?」と勧められ、その言葉が明治大学法学部への進学を決めた一因だったようにも思います。その時は弁護士を目指す気持ちはまったくなかったのですが、法学部に入学していなかつたら、もちろん今の私はありません。おもしろいものだな、と思っています。

明大中野には、生徒の気持ちをくみ取ってくださる先生がとても多くいらっしゃったという印象があります。もしかすると、私の適性を見抜いた上でのアドバイスをしてくださったのかもしれません。

最近では私も、法科大学院で生徒を教えるという経験をしています。教室に立つ時はいつも、先生方のことを思い出し、「学生たちの気持ちを理解しよう」と、学生たちと目線を合わせ接することを常に意識しています。

また、私が弁護士になることを選んだのも、明大中野の校風が影響しているのかなと思う時があります。礼儀やしつけの面では厳しい学校でしたが、その反面、学校行事では生徒の自主性に任せる自由な校風もありました。また、他校の生徒が受験のために費やす時間を他のことに回せたので、その分、いろいろな体験ができたからなのか、卒業生は実に様々な個性を持っていて、卒業後の進路もバラエティに富んでいます。私が弁護士を目指し始めたときも、明大中野出身の友人たちは応援し、エールを送ってくれました。

今、弁護士の仕事をしていると、法人から個人まで、様々なクライアントから依頼を受けますが、今になって思えば、たくさんの人と接することで世界の広さや多彩さを初めて感

じたのは、明大中野に入学した時でした。学校には、様々な地域から集まってきた中学1年生から高校3年生までの幅広い年齢の生徒がいて、勉強熱心な者もいればスポーツでプロを目指す者もいました。皆それぞれ異なる夢や目標を持っており、常に刺激を受けていた学校生活でした。

明大中野に入って、本当に良かったな、と思えるのは、一生の友人が出来たことです。中学、高校の多感な時期を同じ環境で過ごした友人達は、互いに素の姿しか見ていませんから、卒業後も、様々な場面でお互いを支えあえる人生の宝だと思いますし、そんな関係は、明大中野の環境だからこそ得られたのではないかと思います。

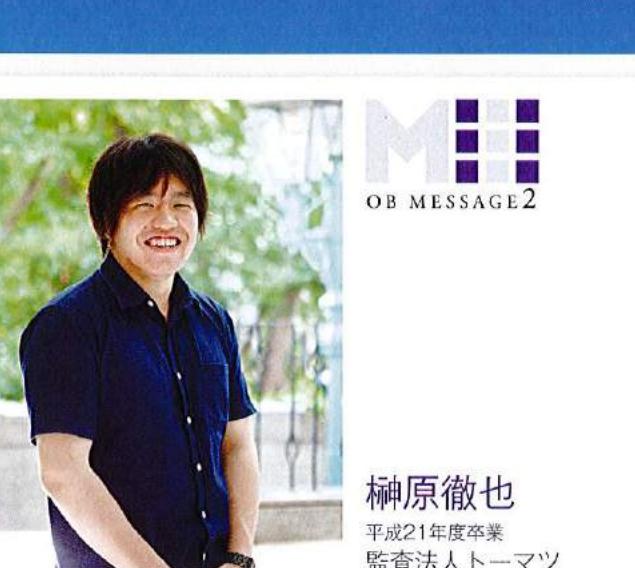


OBの皆さんからの声をお届けいたします

OB MESSAGE 1



OB MESSAGE 2



榎原徹也

平成21年度卒業
監査法人トーマツ

高校時代に見つけた 公認会計士という夢

私は大学3年生で、国家資格である公認会計士試験に合格することができました。

私が公認会計士を目指したきっかけは、高校3年次に行われた明治大学の公開授業です。商学部の授業を聴講し、経済・会計に興味を持ち、商学部への進学を決意しました。

そこで、日々の学校の勉強に力を入れるとともに、明治大学と

連携して実施している簿記講座を受講してみました。それまでも普段から経済ニュースをチェックするなど、興味を持っていましたが、会計を学ぶと理解がより深まりました。さらに、簿記について学ぶうちに公認会計士という職業があることを知り、将来の職業として目指したいと思うようになりました。

また、国家資格を取るために大変な勉強が必要だと分かったので、専門学校に通うなど、高校3年のうちから公認会計士になるための勉強を始めました。

明治大学に入学してからは「明治大学経理研究所」に入り、同じ目標を持つ仲間や先輩と共に勉強に取り組み、遂に昨年、目指していた公認会計士試験に合格、希望していた大手の監査法人に内定もいただきました。

しかし、私はこれからが本当のスタートだと思っています。現在の目標は、将来MBAを取得し、一流の会計士・コンサルタントになって活躍することです。そのためには今後、英語を身につけるなど日々勉強をしていかなくては、と身が引き締まる思いです。

そんな私も、実は中学生の時、受験がないという安心感から、勉強に集中できない時期もありました。特に数学が苦手でしたが、一つずつ目標を持つようになってからは、日々の学習に対しても、前向きに取り組めるようになりました。勉強嫌いが克服できました。

私は高校時代に「大学に入ってから何をしたいか」を考える時間がたくさんあったからこそ、今の自分がいるのだと思います。もし大学受験があつたら、そのような余裕も時間もなかつでしょう。付属校で中学・高校時代を過ごすからこそ得られるものがたくさんあります。皆さんもぜひ、明大中野で貴重な時間を過ごしてください。

OB MESSAGE 3



田中 駿

平成20年度卒業
東京慈恵会医科大学
医学部医学科

勉強に部活に友情に 充実した明大中野での6年間

高校1年生で文理選択を考え始めた頃から、理系に進むなら医学部を目指したい、いずれは小児科医になりたいと思うようになりました。明治大学にない学部への受験でしたが、挑戦し、自分を試してみたいという気持ちも大きかったのだと思います。また、同学年に医学部を目指す仲間が他に2人いたので、自分たちで病院の見学を計画し、行ったこともありました。お互いに勉強への

モチベーションを維持しながら、受験に挑むことができたように思います。結果的に1年浪人はしましたが、翌年国立大学を含む3校の医学部に合格し、その中の慈恵医大に進みました。現在は、本格的に医師としての勉強が始まり、講義や実習など学ぶことが多い毎日です。

高校生の頃は、皆が明治大学に進む中、あえて他大学の医学部を受ける決意をしたこともあります。担任の先生は常に気にかけてくださいっていました。卒業後の浪人時代にも電話をください、「厳しいとは思うが、がんばれ」と励ましてくださいました。私自身、決意の強さを先生にも友だちにも認めてもらいたいと、人一倍力を入れて、勉強していたことが懐かしく思い出されます。学校の勉強では、全教科にわたって授業をしっかりと受け取ることを心がけ、センター試験対策の数学の講習を、朝や放課後に受けていました。

とはいっても、勉強だけの学校生活ではありませんでした。中学・高校と体操部に所属していましたが、部活の仲間とは、濃密な時間を過ごした分深い友情を築き、今でも頻繁に集まって近況を報告し合っています。

本音で語り合うことのできる友だちがたくさんできたことは、明大中野に入って一番よかったことだと思います。いろいろな分野へ進もうとしている明大中野の友人たちと再会する度に、視野が広がる気がします。

また、礼儀作法がしっかりと身についたので、医学生として学ぶ今、役立っていることもあります。人との接し方はもちろんのこと、5分前行動などの身近な習慣や、計画を立てて柔々と物事を進め、やり遂げる忍耐力などは、明大中野での学校生活で身についたものだと思っています。

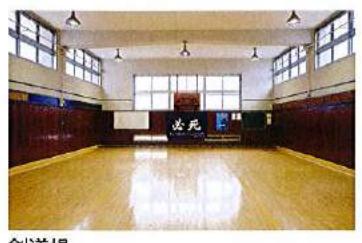
Institution 学校施設

文武両道を実現する充実の施設、恵まれた環境。

本校はJR中央・総武線、都営地下鉄大江戸線東中野駅から徒歩5分、東京メトロ落合駅から徒歩10分の、通学しやすい場所に立地しています。学校周辺には、緑地も多く、閑静な住宅街に囲まれており、生徒の心身を鍛え、伸ばしていくのにふさわしい環境です。校内には、設備の整った特別教室のほか、柔道・剣道専用「武道場」、各競技専用のコート、また、射撃場や温水プール、相撲場など各部活動専用の運動場も備え、学習にも部活動にも真剣に打ち込める、充実した施設が整っています。



正門



剣道場



音楽室（1号館4F）



化学実験室（1号館3F）



卓球室（体育館4F）



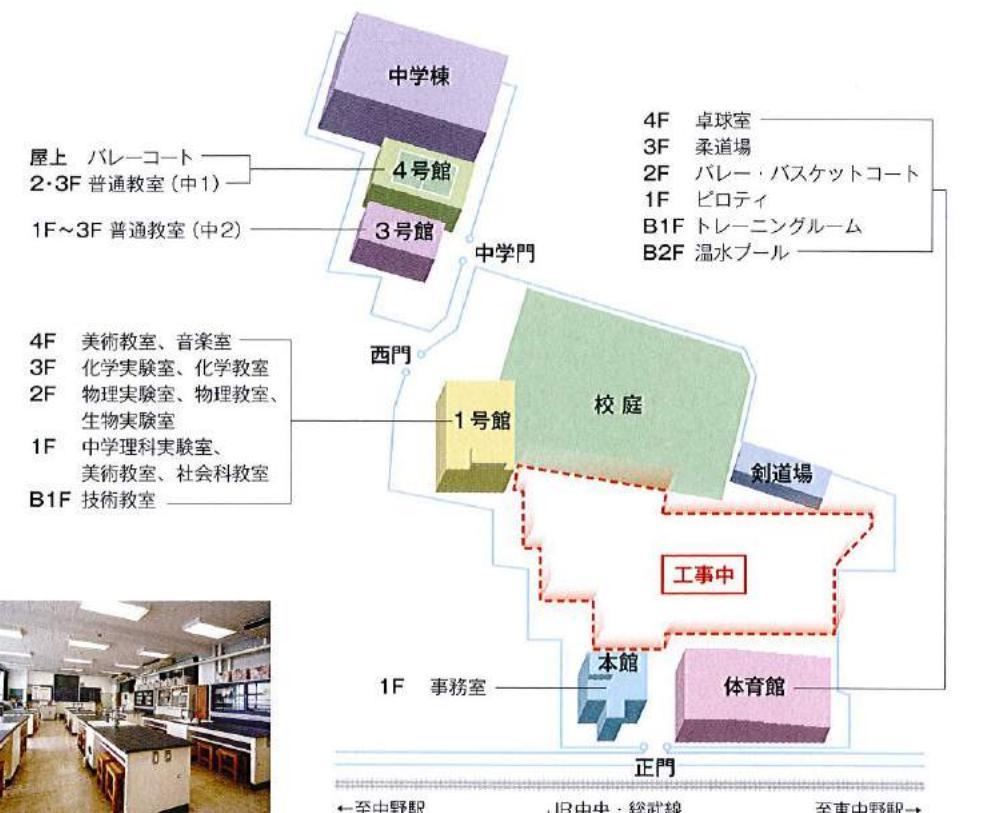
バスケットコート（体育館2F）



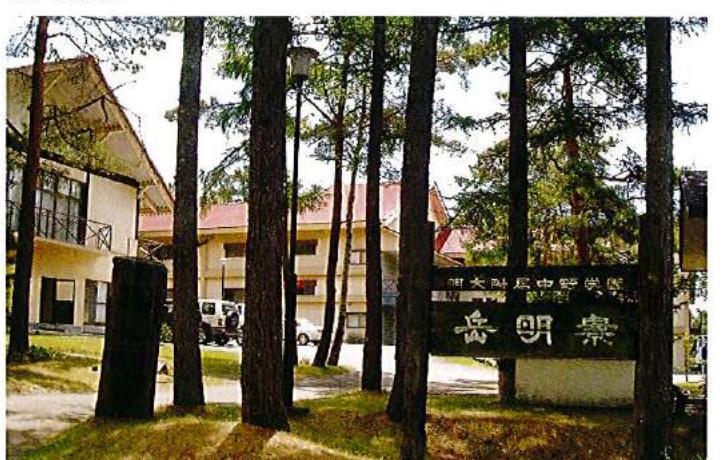
トレーニングルーム（体育館B1F）



温水プール（体育館B2F）



校外施設



岳明寮



南野グラウンド



校訓

目的 修学・研心・鍛身
情緒 質実・剛毅
行動 完責・協同・自治

創立者 御木徳一先生

明治大学校歌 尾玉花外 作詞
山田耕筰 作曲

一 白雲なびく 駿河台
眉秀でたる 若人が
撞くや時代の 曙の鐘
文化の潮 みちびきて
と遂げし維新の 荣になる
明治その名ぞ 吾等が母校
明治その名ぞ 吾等が母校

二 権利自由の 握籠の
歴史は古く 今もなほ
強き光に 輝けり
独立自治の 旗翳し
高き理想の 道を行く
我等が健児の 意氣をば知るや
我等が健児の 意氣をば知るや

三 瞑峰不二を 仰ぎつつ
刻苦研鑽 他念なき
我等に燃ゆる 望みあり
いでや東亟の 一角に
時代の夢を 破るべく
正義の鐘を 打ちて鳴らさむ
正義の鐘を 打ちて鳴らさむ

校歌 葛原しげる 作詞
納所辨次郎 作曲

一 武藏野台の 朝日影
匂ふ桜の ほこらしさ
世の人の為 国の為
心を磨き 身を鍛えらば
栄誉は永劫に 輝かむ

二 日に幾度か 麗はしく
色こそかはれ 芙蓉峯
霞に雲に はた雪に
千古の容姿 動きなく
質実剛毅 さとすなり

三 大天地に 処得て
照る日照る月 そよぐ風
おのれの責務 果しては
協同自甕を 誓ふ子に
気高く清き とも伴侶たらむ

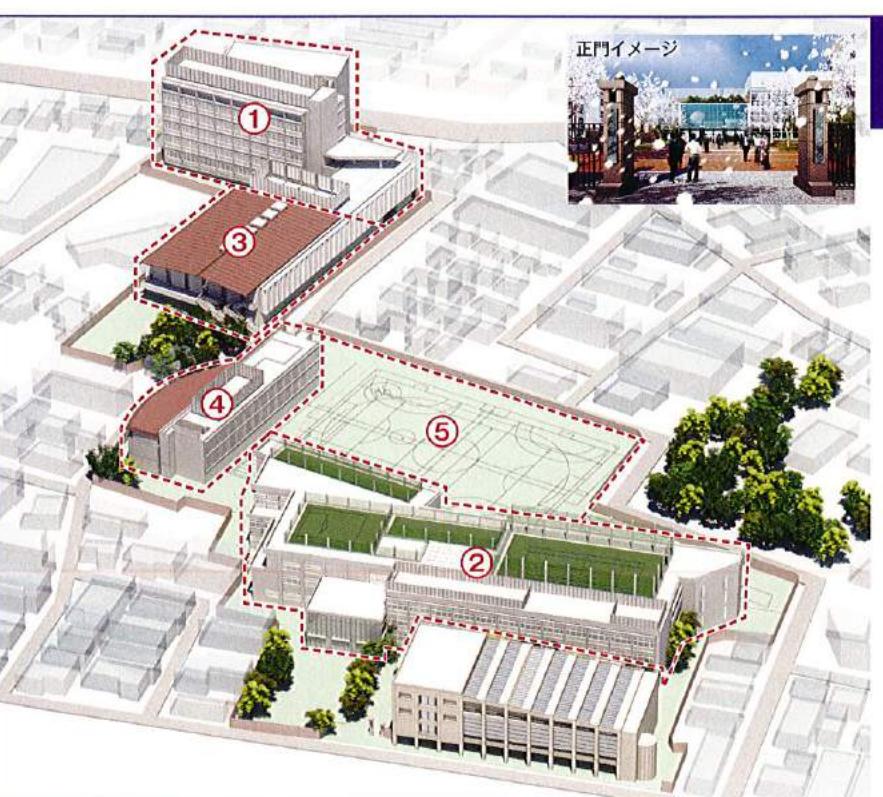
PTA活動

戦後復興の苦労をともにした本学園とPTAの絆は、現在においてもなお、「尊敬・信頼・親愛」の心でしっかりと結ばれています。年7回、教室で担任教師を囲んで行う「学級PTA」、ならびに生徒会の担当指導教師(顧問)を囲んで行う「クラブPTA」では、生徒のための熱心な話し合いの場が持たれています。また、広報誌『たらちね』を発行する「広報委員会」、多形な分野から講師を招き、講演会や演奏会を開催する「教養講座委員会」、リサイクルを兼ねた福祉活動を行う「学生服リサイクル委員会」、生徒の福利厚生を目的に文化祭でご協力いただく「バザー委員会」、文化祭の展示・講堂演技を対象に優秀な作品・団体を表彰する「奨励賞委員会」の各委員会が、活動を行っています。そのほか、PTAサークル活動として、コーラス部・卓球部・バレー部・書道部・棋道部・コンピュータクラブなどがあり、月に1~2回、熱心に活動しています。

校舎建替計画

創立80周年を記念し、より快適な学校生活を過ごすことができるよう、校舎の建て替えを行ってまいります。

1. 中学棟 1期工事
2013年5月～2014年8月
2. 高校棟 2期工事
2014年8月～2016年3月
3. 中学棟（第2体育館）3期工事
2016年4月～2017年8月
4. 共用棟 3期工事
2016年4月～2017年8月
5. グラウンド 4期工事
2017年8月～2017年12月



沿革

昭和	沿革
4年 4月	旧制中野中学校開校
8年 3月	第1回卒業式
20年 5月	空襲により校舎全焼
21年 3月	片桐誠先生第8代校長就任
22年 4月	新制中学校認可
23年 3月	新制高等学校認可
24年 3月	旧制中学校第17回卒業式
24年 4月	新制高校第1回卒業式
25年 12月	明治大学付属となる
27年 3月	定時制併設認可
30年 11月	創立25周年記念式典
31年 4月	3号館落成
32年 7月	館山・臨海施設（鏡明寮）完成
36年 12月	新校舎建設5ヶ月計画
38年 1月	1号館（特別教室）落成
40年 2月	2号館（普通教室）落成
40年 7月	講堂落成
50年 4月	八ヶ岳原村・林間施設（岳明寮）完成
51年 12月	4号館落成
54年 10月	6号館落成
57年 9月	創立50周年記念式典
58年 6月	八王子戸吹総合グラウンド完成
59年 4月	岳明寮改築落成
63年 6月	創立55周年記念事業 明治大学付属中野八王子中学校・高等学校開校
平成	第8代校長片桐誠先生名誉校長就任
元年 1月	片桐誠一郎先生第9代校長就任
6年 7月	創立60周年記念事業 温水プール付体育館新築落成
11年 10月	創立65周年事業 全館冷暖房設備設置
19年 4月	創立70周年記念式典
21年 10月	小澤正昭先生第10代校長就任
25年 4月	創立80周年記念式典 大渡正士先生第11代校長就任

Q & A

学校について知ることは、あなたの未来を考えることです。

Q 平成28年度入試の変更点はありますか。

A 特に大きな変更点はありません。

Q 中学第1回・2回入試の併願に対し優遇措置はありますか。

A 併願者の優遇措置は実施されていません。

Q 繰り上げ合格はどんな方法をとっていますか。

A手続き締め切り後に欠員が生じた場合、合格発表時に併せて表示した補欠者のうち成績上位者から、順次、繰り上げ合格を行います。繰り上げ合格者には、電話で連絡をします。(不在でも何度も連絡します)

Q 教科点での足切りはありますか。

A合格点に達していれば、各教科別の足切りはありません。

Q 推薦入試や帰国子女入試はありますか。

A高校では限られた運動部を対象に、推薦入試を取り入れていますが、一般推薦入試は、中学・高校ともに実施しています。帰国子女に対する入試も、現在のところ行っていません。

Q 海外研修制度はありますか。

A高2・3の希望者を対象に夏期休暇中14日間の日程でアメリカ語学研修を、また、中3の希望者を対象に春期休暇中11日間の日程でニュージーランド語学研修を実施しています。

なお、特別な事情で海外に留学する場合、「留学に関する規定」があり、帰国後海外で履修した単位を認め、学齢該当年に進級させることができます。中学生の場合には「再入学に関する規定」があります。

Q コース制はとっていますか。

A中学では特別なクラス編成はとっています。また、高校でも、特進クラスは設けておりませんし、併設中学と高校から入学してくる生徒も、1年次から混合してクラスを編成しています。

2年次からは文系・理系のコース分けを行い、それぞれのコースに応じた選択科目・演習科目を導入しています。ただし、2年次ではあまり偏ることのないようにバランスのよい科目配当を行っています。3年次では、進路に応じた学習ができる

ビジネス研究科、会計専門職研究科の高度専門職業人養成型大学院の充実など多くの改革を行い、一人ひとりの「個」を強く発信する力を養うことのできる大学として、広い視野で世界を見渡しながら前へ進み続けています。

Q 校則やしつけは厳しいですか。

A校訓「質実剛毅」に照らし、男子中学生・高校生らしさを逸脱しないよう、頭髪・服装を中心にルールを設け、守らせています。例えば、制服は黒の詰襟(冬服)です。また、髪型は染色・パーマ・変形・長髪などを禁じ、靴やカバンも指定しています。

しつけ面では、次の5つの実践目標「勉学に励む」「時間を大切にする」「決めごとを守る」「身辺の美化」「挨拶の励行」を掲げています。基本的生活習慣をしっかりと身につけ、明るく楽しくのびのびとした学校生活を送れるように指導しています。

Q 学校行事にどのような特色がありますか。

A中1・中2・高1は夏休みに長野県八ヶ岳山麓にある「岳明寮」にて移動教室を行います。また、総合学習の一環として、八ヶ岳農林大学校での農林体験学習、美術館・遺跡見学、松本・松代・上田への

班別自主見学、球技大会、竹細工等、多彩な内容を通して、青少年に欠けがちな団体生活のあり方を体験し、友情を育み、生徒と教師の信頼関係を培うとともに、「生きる力」の養成にも役立っています(行事の詳細については、19~20ページを参照)。

Q 特色ある授業はありますか。

A体育の授業では、中1・中2で温水プールでの週1時間の水泳の授業を、高1・高2の2年間は、柔道か剣道の武道を週1時間選択履修して、初段取得を目指しています。

また、中1・中2の英語の授業では、1クラスを2分割し、外国人講師と英語教師による少人数の英会話授業を、週に一度実施しています。

Q いじめや不登校などには、どのように対応していますか。

A多くの生徒が共に学校生活を送っている以上、人間関係のトラブルがないとは言えませんし、不登校の生徒も何人かいります。

本校は学級PTAを多く行い、問題点や相談事については、家庭や学校でのありのままの様子を保護者・教師がそれぞれ報告し、問題解決の方策を話し合ってい

ます。また、学級担任ら教師が、朝、放課後のホームルーム時、昼休み等、常日頃より生徒一人ひとりと対話を持ち、問題が起ころぬように努めていますし、本校カウンセラーと一丸となって細心の注意で対応しています。このほか、生徒会のボランティア活動や校外美化活動を通して、思いやりの気持ちを育てる、「心」の教育にも力を注いでいます。

Q 食堂はありますか?

A新校舎建設中のため現在は利用できません。各自で昼食を持参してください。パン・牛乳等の販売は全生徒に行っています。また、中3~高3の希望者を対象に弁当を販売しています(食堂のある公用棟は、2017年8月に完成予定です)。

Q クラブ活動の状況を教えてください。

A本校には、15~18ページで紹介したように、運動部・文化部ともに数多くのクラブがあり、自分に合ったクラブを見つけることができます(ただし、兼部はできません)。

入部状況は、中学90%、高校70%程度ですが、自由意志に基づくもので、強制ではありません。多くのクラブが活動

するため、校外の施設を利用して活動するクラブもあります。

クラブ活動の時間は放課後午後6時までが原則で、勉強との両立は十分できます。また、クラブ活動は上級生・下級生・OBが一体となり、終生の友情を育む場所ともなっています。両立させるために人一倍の努力と集中力が要求されますが、むしろそれが自己啓発と連動し、「文武両道」を通しての充実感を生んでいきます。また、運動部だけでなく文化部の活動も盛んですから、自分に合ったクラブを見つけることができます。クラブ活動が自主性を養い、個性の確立に重要な分野を担っています。

Q 中学から高校へ進学する際の基準などはありますか。

A普段の学校生活をもとに、学習上・出席上・生活上の進学基準から、判断をします。上記の進学基準はきちんと出席し、学校の授業や課題をこなしていれば容易にクリアすることができる内容です。

Q 校舎の建て替えはどのように行いますか。

A本校は平成21年に創立80周年を迎えました。その記念事業として校舎の全

面的な建て替えを計画してきました。校舎建設は3期に分けて行います。まず、新たに取得した土地に校舎を建設します。次に新校舎に移転した生徒が学んでいた校舎を取り壊し、その跡地で第2期の工事を実施します。こうした点から仮校地への通学や、プレハブ校舎での生活を回避します。なお、校舎建て替えの進捗状況につきましては、今後もホームページで紹介していきます(26ページを参照)。

Q 入学金・授業料の概要を教えてください。

A入学後に必要となる入学金・授業料は下表の通りです。

入学金・授業料 他

	中学校		高等学校	
	入学手続時	入学後 (年額3期分納)	入学手續時	入学後 (年額3期分納)
入学金	250,000円		250,000円	
授業料		510,000円	510,000円	
生徒会会費		3,000円	3,000円	
PTA会会費		12,000円	12,000円	
PTA会費		5,000円	5,000円	
施設設備費		17,000円	17,000円	
計	250,000円	787,000円	258,000円	779,000円

※平成27年度の金額です。

明治大学キャンパスガイド

1 駿河台キャンパス

〒101-8301
東京都千代田区神田駿河台1-1
●JR/御茶ノ水駅下車徒歩3分
●東京メトロ/新御茶ノ水駅下車徒歩5分
(アカデミーコモン)

■法学部/商学部/政治経済学部/経営学部/文学部
情報コミュニケーション学部(各学部3・4年次)
■大学院 ■法科大学院 ■専門職大学院

2 和泉キャンパス

〒168-8555
東京都杉並区永福1-9-1
●京王/明大前駅下車徒歩5分

■法学部/商学部/政治経済学部/経営学部/文学部
情報コミュニケーション学部(各学部1・2年次)
■大学院

3 生田キャンパス

〒214-8571
神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1
●小田急/生田駅下車徒歩10分

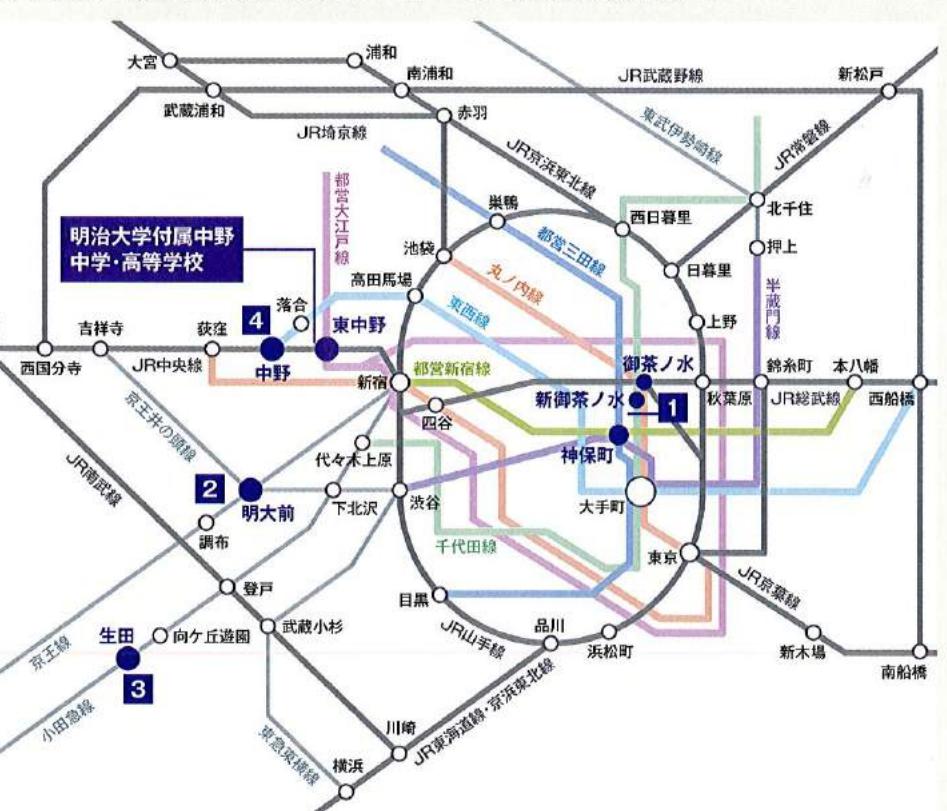
■理工学部/農学部(1~4年次) ■大学院

4 中野キャンパス

〒164-8525
東京都中野区中野4-21-1
●JR/中野駅下車徒歩8分

■国際日本学部/総合数理学部(1~4年次) ■大学院

明治大学は、10学部すべてのキャンパスが、都内および東京近郊に集まっています。いずれのキャンパスも、最寄り駅から徒歩で通える環境であり、本校の通学圏に在住の学生であれば、通学しやすい環境といえます。また、本校と同じ中野区に「中野キャンパス」が開校しました。



Advice 受験情報

明大中野の入試問題について教科担当者からのメッセージ

中学入試 平成28年度用

国語

- 1時間目50分の実施で、100点満点です。
- 昨年度と大きな変更はありません。
- 問題構成としては、例年長文読解問題が60~70%、小問が30~40%です。
- 記述式問題が多く、誤字・脱字・答え方が不正確の場合（例えば、理由を問われているのに“～こと”と答える）、減点の対象となります。また例年、指示語、接続詞、主語、言葉の係り受けの問題などが出題されています。
- 小問については、漢字の読み書きが20点前後出題されます。漢字は、小学校の学習漢字の範囲内ですが、字は丁寧に書くことを心がけてください。そのほか四字熟語、慣用句、諺、語句の意味、言葉のきまり（文法）などが出題されています。

社会

- 2時間目30分の実施で、50点満点です。
- 地理・歴史・公民の3分野から出題されます。
- 解答形式は「選択肢から選ぶ」「語句を解答する」ものがほとんどですが、「短い文章で解答する」ものが出題されることもあります。また、1問あたりの配点は1~3点です。
- 地理については、日本地理を中心に出題されますが、基礎レベルの世界地理も出題されることがあります。グラフを読み取る問題がよく出題されています。地名については、地図帳で位置を確認する習慣をつけておいてください。歴史については、ことがらを単独で覚えるのではなく、原因から結果までの全体の流れを理解するようにしましょう。年表を活用した学習が効果的です。文章で解答する問題は、歴史で多く出題されます。公民については、日本の政治を中心に出題されます。世界については、基礎レベル程度です。学習内容はそれほど多くないので、もれのないようにしましょう。
- 過去1年間の時事を地理・歴史・公民の3分野に関連させて出題されます。日頃から新聞に目を通すように心がけるといいでしょう。
- 用語・地名・人名を漢字で正しく解答できるようにしておきましょう。

理科

- 3時間目30分の実施で、50点満点です。
- 大問は5~8問（小問としては25題程度）で、小問1問が2~3点の配点です。
- 「物理」「化学」「生物」「地学」の4分野から出題されます。解答形式は「選択肢から選ぶ」「語句を解答する」「計算による数値解答」が多く、10~20字の記述式問題が出題される場合もあります。問題の主な内容は「知識を問うもの」「法則を使って論理的な思考力を問うもの」「実験・観察に関するもの」などです。
- 「物理」は法則を利用した計算が多く、問題演習を多くする学習に励んでください。「化学」は反応の量的な計算と物質に関する知識を増やす学習に励むこと、「生物」は植物と動物に関する内容ですが、学ぶべき量が多いので、学習量に比例して必ず力がつくはずです。「地学」は天体・気象・地層に関する内容ですが、覚えるものと論理的に思考するものがあるので、地道な学習を続けてもらいたいと思います。

算数

- 4時間目50分の実施で、100点満点です。
- 出題内容は、計算から文章題、平面・立体图形など、小学校で学習する全範囲から出題されます。
- 例年の問題構成としては、計算・小問が8~10題程度。その後、文章題・グラフの読み取り、平面・立体图形などの問題が8~10問程度です。配点はほぼ均等です。
- 本校では難問・奇問と言われるような内容は出題されませんので、確実に正解を導けそうな問題から取り組み、早く正確に計算ができるように計算練習を着実に行ってください。

中学入試結果

		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
		第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回
合格者	最高点／最低点	278点／168点	264点／171点	249点／170点	235点／177点	256点／172点	247点／171点
	平均点	187点	187点	191点	192点	190点	191点
	国語	64点	59点	56点	64点	58点	68点
	算数	52点	62点	66点	64点	67点	62点
受験者	社会	38点	37点	36点	33点	34点	32点
	理科	33点	28点	34点	31点	30点	30点
	平均点	156点	148点	157点	158点	153点	147点
	国語	56点	51点	49点	56点	49点	60点
	算数	41点	43点	50点	51点	52点	39点
	社会	33点	31点	30点	28点	29点	26点
	理科	27点	23点	28点	23点	24点	22点
	募集定員	160名	80名	160名	80名	160名	80名
応募者数		790名	680名	816名	689名	904名	821名
欠席者数		108名	191名	119名	180名	127名	190名
受験者数		682名	489名	697名	509名	777名	631名
合格者数		277名	155名	269名	146名	255名	138名
形式倍率／実質倍率		4.9倍／2.5倍	8.5倍／4.2倍	5.1倍／2.6倍	8.6倍／3.5倍	5.7倍／3.0倍	10.3倍／4.6倍

お問い合わせの多い受験科目の出題傾向について、各教科の担当者からのアドバイスです。

傾向と対策も大事ですが、それ以上に考える力、それを支える幅広い知識と学力が大きな鍵となるでしょう。一日一日を大切に、確かな基礎力を身につけられるよう、努力しましょう。

高校入試 平成28年度用

国語

- 1時間目50分の実施で、100点満点です。
- 問題構成としては、例年長文読解問題が60~70%、小問が30~40%です。
- 記述式問題も多く、誤字・脱字・答え方が不正確の場合（例えば、理由を問われているのに“～こと”と答える）、減点の対象となります。また例年、指示語、接続詞、主語、言葉の係り受けの問題なども頻出しています。
- 漢字の読み書きは、一画一画丁寧に書くことを心がけてください。そのほか四字熟語、慣用句、故事成語、語句の意味、文法などが過去に出題されています。

英語

- 2時間目50分の実施で、100点満点です。
- 本校の英語の入試問題は、私立高校の入試問題としては標準的なもので、中学の学習内容を大きく逸脱するものではありません。まずは基礎的な英語力をしっかりと身につけてください。
- 中学校で学ぶべき基本的な文法事項は、私立高校受験用の問題集で学習し、その内容を自分のものにしてください。近年、文法問題の出来や単語を正しく書く力が低下しているように思われます。
- 読解問題の出題数は3題程度です。総合的な英語力と、限られた時間内に読み取る力が必要です。日頃から多くの英文に慣れておくようにしてください。
- 時間が許せば、読書をして国語の力をつけてください。日本語でも幅広い読書をしておくことは、文章の読解力を養う上で重要です。

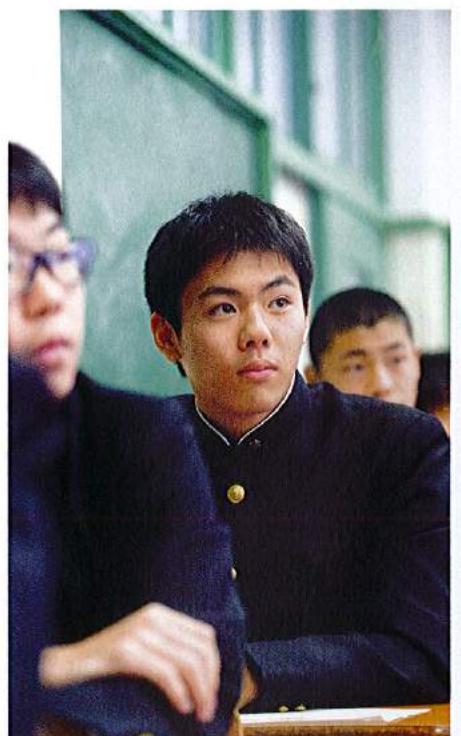
数学

- 3時間目50分の実施で、100点満点です。
- 出題内容は、計算から文章題、平面・立体图形など、中学校で学習する全範囲から出題されます。
- 例年の問題構成としては、計算・小問が8~10題程度。その後、文章題・図形などの問題が8~10問程度です。
- 一部に途中の式や考え方を見る記述式の問題が出題されます。普段から式や考え方を正確に書けるように心がけてください。
- 確実に正解を導けそうな問題から取り組み、早く正確に計算ができるように計算練習を着実に行ってください。
- 難問や奇問と言われるような内容は出題されません。必ず標準的な高校受験用問題集を一冊やり通し、中学校で学習する内容をしっかりと理解してください。

高校入試結果

	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
合格者	最高点／最低点	246点／167点	248点／172点	253点／170点
	平均点	185点	190点	191点
	国語	65点	69点	53点
	数学	51点	61点	63点
受験者	英語	69点	60点	76点
	平均点	157点	155点	157点
	国語	59点	62点	47点
	数学	42点	47点	49点
	英語	56点	46点	62点
	募集定員	138名	138名	138名
	応募者数	882名	923名	923名
	欠席者数	64名	59名	80名
受験者数		818名	864名	843名
合格者数		313名	280名	323名
入学者数		196名	169名	175名
形式倍率／実質倍率		6.4倍／2.6倍	6.7倍／3.1倍	6.7倍／2.6倍
併設中学進学者数		221名	237名	235名
高1生徒総数		417名	406名	410名

※上記「入学者数」の中には、スポーツ推薦生・線上合格者も含まれています。



生徒募集要項

	中学校	高等学校
募集人員	第1回 160名(男子) 第2回 約80名(男子)	約165名(男子) ※スポーツ推薦約30名を含む
出願資格	平成28年3月小学校卒業見込の者	平成28年3月中学校卒業見込の者、および中学校卒業者
出願期間	第1回 1月20日(水)~1月28日(木) ※日曜日を除く 第2回 1月20日(水)~2月3日(水) 9:00~16:00まで(土曜日と2月3日(水)は14:00まで)	1月25日(月)~2月4日(木) ※日曜日を除く 9:00~16:00まで(土曜日は14:00まで)
出願書類	入学願書(写真1枚添付のこと) 受験料 25,000円	入学願書(写真2枚添付のこと) 出身学校の調査書 受験料 25,000円
試験日時	第1回 2月2日(火)8:45入室完了 第2回 2月4日(木) 同上	2月12日(金)9:00入室完了
試験教科	第1回 4科[国語・算数(各100点)、社会・理科(各50点)] 第2回 4科[国語・算数(各100点)、社会・理科(各50点)]	3科[国語・英語・数学(各100点)]
合格発表	第1回 2月3日(水)10:00~12:00 第2回 2月5日(金)10:00~12:00 (インターネットにても発表)	2月13日(土)10:00~12:00 (インターネットにても発表)
入学手続	第1回 2月3日(水)10:00~15:00 2月4日(木) 9:00~15:00 第2回 2月5日(金)10:00~15:00 2月6日(土) 9:00~12:00	2月13日(土)10:00~12:00 2月15日(月) 9:00~15:00

※上記高等学校募集要項は一般入試に関するもので、スポーツ推薦入試については学校にお問い合わせください。

平成27年度 説明会・公開行事

〔中学校〕学校説明会 10月 5日(月) 9:30~11:00	〔高等学校〕学校説明会 10月 7日(水) 9:30~11:00
10月26日(月) 9:30~11:00	11月10日(火) 9:30~11:00

- 学校説明会は、いずれも「なかの ZERO 大ホール」にて行います。学校生活と入試について担当教員からの説明があります。
- 各日とも9時開場です。

※全ての行事とも、事前の申し込みおよび上履きは必要ありません。

※オープンスクール(6月)並びに桜山祭[文化祭](9月)は、新校舎建設中のため、今年度は実施いたしません。



明治大学付属中野 中学・高等学校

〒164-0003 東京都中野区東中野 3-3-4

TEL.03-3362-8704

<http://www.nakanogakuen.ac.jp/>

JR 中央・総武線 東中野駅から [徒歩 5分]

都営地下鉄大江戸線 東中野駅から [徒歩 5分]

東京メトロ東西線 落合駅から [徒歩10分]

